対象校No.　　学校コード F127310111950
注４　　注３

設置年度　令和　7年度

計画の区分：　大学の設置
注１

認可

注2
大阪信愛学院大学　看護学部　看護学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書
（改正前大学設置基準適用）

学校法人大阪信愛女学院
令和７年５月１日現在

作成担当者

担当部局（課）名	総務課
職名・氏名	課長（カチョウ）・三好博昭（ミヨシヒロアキ）
電話番号（夜間）	06-6939-4391（内線：1182）
e－mail	soumuka@osaka-shinai.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（　　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例）　〇〇大学　△△学部　□□学科
（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科　〇〇専攻（修士課程）」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

３　学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

４　対象校No.については、「【別紙】令和７年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、該当番号を記載してください。

目次

看護学部

＜看護学科＞　　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３
２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７
３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２３
４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２４
５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２５
６．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５０
７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５３

1　調査対象大学等の概要等

（1） 設　置　者

学校法人大阪信愛女学院

（2） 大　学　名

大阪信愛学院大学

（3） 調査対象大学等の位置

〒536－8585
大阪府大阪市城東区古市2丁目7番30号

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4） 管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ イワクマ　ミナコ） 岩熊　美奈子 （平成29年4月）		
学　　長	（イワサワ　カズコ） 岩澤　和子 （令和4年4月）		
学 部 長	（イワサワ　カズコ） 岩澤　和子 （令和4年4月）	~~（エンドウ　トシコ）~~ ~~遠藤　俊子~~ ~~（令和5年4月）~~ （ナラギノ　ヒロミ） 楢木野　裕美 （令和7年4月）	設置計画により遠藤俊子学部長着任を令和5年4月としていたため。（５） 遠藤俊子学部長任期満了により楢木野裕美学部長が令和7年4月より着任（7）
学科長等			

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してくだ
（例）令和６年度に報告済の内容　→（６）
令和７年度に報告する内容　→（７）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

(注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、別ファイルにて提出してください。
・ 様式は、令和３年度開設の４年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和７年度までの５年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が６年を越え、様式に変更が必要な場合にそれらのコースや専攻単位でも記載したものを、別途ご連絡ください。
・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
看護学部 看護学科 学士（看護学）	保健衛生学関係（看護学関係）	4 年	80 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	320 人		

（注）・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の２））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「－」を選択。）

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
Ａ　入学定員	人 － （－） ［－］	人	人 － （－） ［－］	人	80人 80 （－） ［－］	0人	80人 80 （－） ［－］	0人	80人 80 （－） ［－］	0人	80人 80 （－） ［－］	0人	－	0.99倍	－	
志願者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	205 （－） ［－］	（－） ［－］	250 （－） ［－］	（－） ［－］	114 （－） ［－］	（－） ［－］	173 （－） ［－］	（－） ［－］	春季入学以外の入学時期と入学定員内訳			
受験者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	180 （－） ［－］	（－） ［－］	234 （－） ［－］	（－） ［－］	108 （－） ［－］	（－） ［－］	165 （－） ［－］	（－） ［－］				
合格者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	151 （－） ［－］	（－） ［－］	129 （－） ［－］	（－） ［－］	99 （－） ［－］	（－） ［－］	145 （－） ［－］	（－） ［－］				
Ｂ　入学者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	95 （－） ［－］	（－） ［－］	96 （－） ［－］	（－） ［－］	61 （－） ［－］	（－） ［－］	89 （－） ［－］	（－） ［－］				
入学定員超過率 Ｂ／Ａ	－		－		1.18		1.2		0.76		1.11					

（注）・ 報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「－」を記入してください。
・ （　）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、((　))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・ 転入学生は記入しないでください。
・ ［　］内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「－」を選択。）
・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和８年度開設用）Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第１条第２項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第２項及び第４項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
・ 「（５）－②　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「４　既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

学年＼対象年度	令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	95 [－] (－)	－ [－] (－)	96 [－] (－)	－ [－] (－)	61 [－] (－)	－ [－] (－)	89 [－] (－)	－ [－] (－)	
２年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	94 [－] (－)	－ [－] (－)	94 [－] (－)	－ [－] (－)	57 [－] (－)	－ [－] (－)	
３年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	87 [－] (－)	－ [－] (－)	88 [－] (－)	－ [－] (－)	
４年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	84 [－] (－)	－ [－] (－)	
計	－ [－] (－)		－ [－] (－)		95 [－] (－)		190 [－] (－)		242 [－] (－)		318 [－] (－)		

(注)・ 報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

・ [　]内には、留学生の状況について、**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。

・（ ）内には、留年者の状況について、**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。

・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。

・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。

・「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳 入学した年度	内訳 退学者数	内訳 退学者数 うち留学生数	主な退学理由（留学生の理由は[ ]書き）
令和2年度	－ 人	－ 人	令和2年度	－ 人	－ 人	
令和3年度	－ 人	－ 人	令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
令和4年度	95 人	1 人	令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
			令和4年度	1 人	0 人	就学意欲の低下(1人)
令和5年度	190 人	9 人	令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
			令和4年度	7 人	0 人	就学意欲の低下(2人)、他の教育機関への転学(4人)、本学への転学(1人)
			令和5年度	2 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(1人)、その他(1人)
令和6年度	242 人	13 人	令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
			令和4年度	3 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、就職(1人)、その他(1人)
			令和5年度	6 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(4人)、経済的困窮(1名)、その他(1人)
			令和6年度	4 人	0 人	就学意欲の低下(2人)、経済的困窮(1人)、除籍(1人)
令和7年度	318 人	0 人	令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
			令和7年度	0 人	0 人	
合　計		23 人		23 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の５月１日現在の数字を記入してください。　（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・修学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

令和2年度の退学者数(a) / 令和2年度の在学者数(a+b) = － / #VALUE! = － %

【令和3年度】

令和3年度の退学者数(a) / 令和3年度の在学者数(a+b) = － / #VALUE! = － %

【令和4年度】

令和4年度の退学者数(a) / 令和4年度の在学者数(a+b) = 1 / 96 = 1.04 %

【令和5年度】

令和5年度の退学者数(a) / 令和5年度の在学者数(a+b) = 9 / 199 = 4.52 %

【令和6年度】

令和6年度の退学者数(a) / 令和6年度の在学者数(a+b) = 13 / 255 = 5.09 %

【令和7年度】

令和7年度の退学者数(a) / 令和7年度の在学者数(a+b) = 0 / 318 = 0 %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

２　授業科目の概要

＜看護学部　看護学科＞

（１）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通教育科目	宗教と人間	キリスト教と人間	1前	1								1
		現代とキリスト教	1後	1								1
		人間論（哲学）	3前	1								1
		宗教論	4後	1								1
	小計（4科目）			4	0	0	0	0	0	0	0	2
	社会と人間	心理学	1前		1							1
		教育学概論Ⅰ	1前		1		1					
		ライフサイエンス	1後	1								1
		社会学	1後		1							1
		サービスラーニング	2通年	1				1	3	1		5
		キャリア入門	1前	1				1				1
		セーフティプロモーション	2前		1			1				
		生活と化学	1後		1							1
		社会と人権（日本国憲法）	1後		2							1
		ジェンダー論	2前		1							1
		生命倫理	1後	1								1
	小計（11科目）			4	8	0	1	3	3	1	0	10
	表現・行動と人間	くらしと色彩	1後		1							1
		人と音楽	1前		1							1
		音楽療法入門	4後		1							1
		園芸療法入門	4後		1							1
		体育講義	1前		1							2
		スポーツと健康	1前		1							1
	小計（6科目）			0	6	0	0	0	0	0	0	6
	情報と人間	文章表現	1前		1							2
		クリティカル・シンキング	2後	1								2
		基礎ゼミ	1前	1			2		3			5
		教養ゼミ	1後	1			3	1	1			5
		社会調査法	2後		1		1			1		1
		データサイエンス	2前		1		1					
		情報倫理	1前	1						1		1
		情報リテラシーⅠ	1前	1						1		1
		情報リテラシーⅡ	1後		1					1		1
	小計（9科目）			5	4	0	3	1	3	1	0	11
	言語・文化と人間	Speaking & Listening	1前・後	1								1
		Writing	1前・後	1								2
		Reading Ⅰ	1前・後	1								2
		Reading Ⅱ	2前・後		1							3
		Process Writing	2前・後		1							1
		時事英語	4前・後		1							1
		医療英語	3前・後		1							1
		フランス語Ⅰ	1前		1							1
		フランス語Ⅱ	1後		1							1
		異文化交流（海外語学研修	1前		2		1		1			3
		国際理解（カンボジア研修）	1前		1		1		1			2
		文化人類学（異文化理解）	1前		1							1
	小計（12科目）			3	10	0	1	0	1	0	0	8
専門教育科目	専門基礎科目	人体の構造と機能（解剖学）	1前	1								1
		人体の構造と機能Ⅰ	1前	2			1					
		人体の構造と機能Ⅱ	1後	1			1					
		人体の構造と機能Ⅲ	1後	1			1					
		生化学	1後	1								1

【令和７年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通教育科目	宗教と人間	キリスト教と人間	1前	1								1
		現代とキリスト教	1後	1								1
		人間論（哲学）	3前	1								1
		宗教論	4後	1								1
	小計（4科目）			4	0	0	0	0	0	0	0	1
	社会と人間	心理学	1前		1							1
		教育学概論Ⅰ	1前		1		1					
		ライフサイエンス	1後	1								1
		社会学	1後		1							1
		サービスラーニング	2通年	1				1	3	2		5
		キャリア入門	1前	1				1				1
		セーフティプロモーション	2前		1			1				
		生活と化学	1後		1							1
		社会と人権（日本国憲法）	1後		2							1
		ジェンダー論	2前		1							1
		生命倫理	1後	1								1
	小計（11科目）			4	8	0	1	3	3	2	0	10
	表現・行動と人間	くらしと色彩	1後		1							1
		人と音楽	1前		1							1
		音楽療法入門	4後		1							1
		園芸療法入門	4後		1							1
		体育講義	1前		1							2
		スポーツと健康	1前		1							1
	小計（6科目）			0	6	0	0	0	0	0	0	6
	情報と人間	文章表現	1前		1							1
		クリティカル・シンキング	2後	1								2
		基礎ゼミ	1前	1			2	2	2	3		4
		教養ゼミ	1後	1			3	1	3			5
		社会調査法	2後		1		1			1		1
		データサイエンス	2前		1		1					
		情報倫理	1前	1						1		1
		情報リテラシーⅠ	1前	1						1		1
		情報リテラシーⅡ	1後		1					1		1
	小計（9科目）			5	4	0	3	3	4	4	0	11
	言語・文化と人間	Speaking & Listening	1前・後	1								1
		Writing	1前・後	1								2
		Reading Ⅰ	1前・後	1								2
		Reading Ⅱ	2前・後		1							3
		Process Writing	2前・後		1							2
		時事英語	4前・後		1							1
		医療英語	3前・後		1		1					1
		フランス語Ⅰ	1前		1							2
		フランス語Ⅱ	1後		1							1
		異文化交流（海外語学研修）（未開講）	1前		2		1		1			2
		国際理解（カンボジア研修）（未開講）	1前		1		1		1			2
		文化人類学（異文化理解）	1前		1							1
	小計（12科目）			3	10	0	2	0	1	0	0	7
専門教育科目	専門基礎科目	人体の構造と機能（解剖学）	1前	1			1					
		人体の構造と機能Ⅰ	1前	2			1					
		人体の構造と機能Ⅱ	1後	1			1					
		人体の構造と機能Ⅲ	1後	1			1					
		生化学	1後	1								1

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門教育科目	専門基礎科目	微生物学・免疫学	1後	1								1
		生命科学	1後	2								1
		疾病治療論Ⅰ	1後	2								1
		疾病治療論Ⅱ	2前	2								1
		疾病治療論Ⅲ	2後	1								1
		疾病治療論Ⅳ	2後	1								1
		栄養学	2前	1								1
		病理学	2前	2								1
		心のしくみと働き	1前	1								1
		臨床薬理学	2後	1								1
		発達心理学	2前		1							1
		生活機能論	2前	1			1					
		健康教育論	2前	1			2					
		環境と健康	2前		1		1					1
		社会健康学	2前	1			1					
		社会心理学	1前	1								1
		家族社会学	1後		1							1
		医療倫理	2前	1								1
		社会福祉論	1前	1								1
		保健統計学	2前	1			1					
		公衆衛生学（疫学	2前	1								1
	小計（26科目）			28	3	0	5	1	0	0	0	15
	専門科目 看護の基盤	看護概論	1前	1			1					
		看護倫理	2前	1			2					
		基礎技術Ⅰ	1前	2			1	1	2	1	2	
		基礎技術Ⅱ	1後	2			1	2	2	1	2	
		ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅠ	2前	2			1	1		1	2	
		ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ	2後	2			3	2	5	1	1	
		看護理論	2前	1			3					1
		臨床判断論	2前	1			2		1	1		
		ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ	2前	1				1				
		家族看護論	2後	1			1					
		看護教育学Ⅰ	3前	1			2					
		ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ	1後	1			2	3	7	1	5	
		ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ	2後	2			1	2	7	2	5	
		小計（13科目）		18	0	0	12	4	9	2	5	1
	専門科目 ライフサイクルと看護	生涯発達看護論Ⅰ（母性）	2前	2			2		1			
		生活機能支援論Ⅰ－①（母性）	2後	1			1		1		1	
		生活機能支援論Ⅰ－②（母性）	3通年	1			1		1		1	
		生活機能支援論実習Ⅰ（母性）	3前	2			1		1		1	
		生涯発達看護論Ⅱ（小児）	2前	2			2		1			
		生活機能支援論Ⅱ－①（小児）	2後	1			1	1	2		1	
		生活機能支援論Ⅱ－②（小児）	3通年	1			1		2		1	
		生活機能支援論実習Ⅱ（小児）	3前	2			1		2		1	
		生涯発達看護論Ⅲ（成人）	2前	1			1					
		生活機能支援論Ⅲ－①（急性）	2後	1			1			1	2	
		生活機能支援論Ⅲ－②（慢性）	2後	1			2			1	2	
		生活機能支援論Ⅲ－③（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ）	3前	1			1	1		1	2	1
		生活機能支援論Ⅲ－④（急性）	3後	1			1			1	2	
		生活機能支援論Ⅲ－⑤（慢性）	3後	1			2			1	2	
		生活機能支援論実習Ⅲ－①（急性）	3後	3			1			1	2	
		生活機能支援論実習Ⅲ－②（慢性）	3後	3			2			1	2	
		生涯発達看護論Ⅳ（老年）	2前	1			1					
		生活機能支援論Ⅳ－①（老年）	2後	2			1		1			1
		生活機能支援論Ⅳ－②（老年）	3後	1			1		1		2	
		生活機能支援論実習Ⅳ－①（老年）	1前	1			2	1	4	1	6	

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門教育科目	専門基礎科目	微生物学・免疫学	1後	1								1
		生命科学	1後	2								1
		疾病治療論Ⅰ	1後	2								1
		疾病治療論Ⅱ	2前	2								1
		疾病治療論Ⅲ	2後	1								1
		疾病治療論Ⅳ	2後	1			1					1
		栄養学	2前	1								1
		病理学	2前	2								1
		心のしくみと働き	1前	1								1
		臨床薬理学	2後	1								1
		発達心理学	2前		1							1
		生活機能論	2前	1			1					
		健康教育論	2前	1			2			1		
		環境と健康	2前		1		1					1
		社会健康学	2前	1			1					
		社会心理学	1前	1								1
		家族社会学	1後		1							1
		医療倫理	2前	1								1
		社会福祉論	1前	1								1
		保健統計学	2前	1			2					
		公衆衛生学（疫学	2前	1								1
	小計（26科目）			28	3	0	5	0	0	1	0	13
	専門科目 看護の基盤	看護概論	1前	1			1					
		看護倫理	2前	1			2					
		基礎技術Ⅰ	1前	2			1	2	1	1	2	
		基礎技術Ⅱ	1後	2			1	3	1	1	2	
		ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅠ	2前	2			1	1		1	2	
		ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ	2後	2			3	3	3	2	1	
		看護理論	2前	1			3					1
		臨床判断論	2前	1			2	1		1		
		ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ	2前	1				1				
		家族看護論	2後	1			1					
		看護教育学Ⅰ	3前	1			2					
		ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ	1後	1			1	4	6	1	5	
		ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ	2後	2			1	4	6	2	5	
		小計（13科目）		18	0	0	12	4	9	3	5	1
	専門科目 ライフサイクルと看護	生涯発達看護論Ⅰ（母性）	2前	2			2		1			
		生活機能支援論Ⅰ－①（母性）	2後	1			1		1		1	
		生活機能支援論Ⅰ－②（母性）	3通年	1			1		1		1	
		生活機能支援論実習Ⅰ（母性）	3前	2			1		1		1	
		生涯発達看護論Ⅱ（小児）	2前	2			2	1				
		生活機能支援論Ⅱ－①（小児）	2後	1			1	1	1			
		生活機能支援論Ⅱ－②（小児）	3通年	1			1	1	1			
		生活機能支援論実習Ⅱ（小児）	3前	2			1	1	1			
		生涯発達看護論Ⅲ（成人）	2前	1			1					
		生活機能支援論Ⅲ－①（急性）	2後	1			1			1	2	
		生活機能支援論Ⅲ－②（慢性）	2後	1			2				2	
		生活機能支援論Ⅲ－③（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ）	3前	1			1	1		1	2	1
		生活機能支援論Ⅲ－④（急性）	3後	1			1			1	2	
		生活機能支援論Ⅲ－⑤（慢性）	3後	1			2				2	
		生活機能支援論実習Ⅲ－①（急性）	3後	3			1			1	2	
		生活機能支援論実習Ⅲ－②（慢性）	3後	3			2				2	
		生涯発達看護論Ⅳ（老年）	2前	1			1					
		生活機能支援論Ⅳ－①（老年）	2後	2			1	1				1
		生活機能支援論Ⅳ－②（老年）	3後	1			1	1			2	
		生活機能支援論実習Ⅳ－①（老年）	1前	1			1	1			2	

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
専門教育科目	専門科目		生活機能支援論実習Ⅳ－②(老年)	3後	2			1		1		2	
			エンドオブライフケア論	3前	1			1		1			
		小計(22科目)			32	0	0	9	2	7	2	9	2
		コミュニティと看護	メンタルヘルス・アセスメント	1前	1				1	1			
			メンタルヘルス・プロモーション	2前	1								1
			生活機能支援論Ⅴ－①(精神)	2後	1				1	1		1	
			生活機能支援論Ⅴ－②(精神)	3通年	1				1	2		1	
			生活機能支援論実習Ⅴ(精神)	3前	2				1	2		1	
			地域包括ケア論Ⅰ(在宅)	2後	2			1	1				
			地域包括ケア論Ⅱ(在宅・地域)	3前	1				1	1	1		
			地域包括ケア論Ⅲ(地域・学校)	3前	1			2					
			地域包括ケア論Ⅳ(在宅)	4後	1			2	1	1	1		
			地域包括ケア論実習Ⅰ(老年)	4前	1			1		1		2	
			地域包括ケア論実習Ⅱ(在宅)	4前	2				1	1	1	6	
			地域包括ケア論実習Ⅲ－①(統合:管理)	4前	1			1		1			
			地域包括ケア論実習Ⅲ－②(統合:地域)	4前	1			2					
			チーム医療論	3前	1			2		1			
			学校保健	3前			2		1				
			養護学概説	3前			2		1				1
		小計(16科目)			17	0	4	5	3	5	1	9	2
		看護の発展	看護マネジメント論Ⅰ	4前	2			2		1			
			看護マネジメント論Ⅱ	4後		1		1		1			
			国際看護Ⅰ	3前	1			2		1			
			国際看護Ⅱ	4前		1				1			
			災害看護Ⅰ	3前	1			1		1			
			災害看護Ⅱ	4後		1				1			
			ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ	3通年	1			4	1				1
			看護研究Ⅰ	3前	1			2		1			
			看護研究Ⅱ	3後	1			11	4	7			
			看護研究Ⅲ	4前	1			12	4	7			
			看護研究Ⅳ	4後	1			12	4	7			
			専門職論	4前		1		2					
			看護政策論	4後		1		1					
			看護教育学Ⅱ	4後		1		1					
		小計(14科目)			9	6	0	12	4	7	0	0	1
	教職科目	教育の基礎的理解に関する科目	教育原理	1後			2						1
			教職論	1後			1	1					
			教育制度論	1後			1						1
			教育心理学	1後			2						1
			特別支援教育	3前			1						1
			教育課程論	3前			1						1
		小計(6科目)			0	0	8	1	0	0	0	0	5
		・・・

卒業要件及び履修方法

1. 共通教育科目（計28単位以上）
(1)宗教と人間　必修4単位
(2)社会と人間　必修4単位
(3)表現・行動と人間
くらしと色彩、人と音楽から1単位選択必修
(4)情報と人間　必修5単位
(5)言語・文化と人間　必修3単位
Reading Ⅱ、Process　Writing、時事英語、医療英語、フランス語Ⅰ、フランス語Ⅱ、異文化交流（海外語学研修）から3単位選択必修

上記以外に心理学、社会学、文化人類学（異文化理解）から1単位選択必修

2. 専門教育科目
(1)専門基礎科目　必修28単位
(2)専門科目　計76単位以上
①看護の基盤　必修18単位
②ライフサイクルと看護　必修32単位
③コミュニティと看護　必修17単位
④看護の発展　必修9単位
自由選択4単位は卒業要件に含まない。

以上、共通教育科目28単位以上、専門教育科目の内、専門基礎科目28単位以上、専門科目76単位以上、合計132単位以上

3. 養護教諭一種免許取得の場合
(1)卒業要件132単位に含める科目と単位
共通教育科目　28単位に下記の選択科目を含める
選択科目「教育学概論Ⅰ」「セーフティプロモーション」「社会と人権（日本国憲法）」
「体育講義」「スポーツと健康」「情報リテラシーⅡ」「Reading Ⅱ」
「Process　Writing」「時事英語」の10単位

(2)卒業要件以外に取得する科目と単位
専門教育科目の内、
専門基礎科目　選択科目「環境と健康」1単位
専門科目　自由科目「学校保健」「養護学概説」4単位
教職科目
自由選択科目
「教育原理」「教職論」「教育制度論」「教育心理学」「特別支援教育」
「教育課程論」「道徳教育の理論と方法」「特別活動及び総合的な学習の指導法」
「教育の方法と技術」「生徒指導」「教育相談」「教育実習事前事後指導」
「教育実習（養護）」「教職インターンシップ」「教職実践演習（養護教諭）」21単位

以上、26単位と卒業要件132単位の合計158単位以上取得すること

4. 履修科目の登録の上限：49単位（年間）

卒業要件及び履修方法

1. 共通教育科目（計28単位以上）
(1)宗教と人間　必修4単位
(2)社会と人間　必修4単位
(3)表現・行動と人間
くらしと色彩、人と音楽から1単位選択必修
(4)情報と人間　必修5単位
(5)言語・文化と人間　必修3単位
Reading Ⅱ、Process　Writing、時事英語、医療英語、フランス語Ⅰ、フランス語Ⅱ、異文化交流（海外語学研修）から3単位選択必修

上記以外に心理学、社会学、文化人類学（異文化理解）から1単位選択必修

2. 専門教育科目
(1)専門基礎科目　必修28単位
(2)専門科目　計76単位以上
①看護の基盤　必修18単位
②ライフサイクルと看護　必修32単位
③コミュニティと看護　必修17単位
④看護の発展　必修9単位
自由選択4単位は卒業要件に含まない。

以上、共通教育科目28単位以上、専門教育科目の内、専門基礎科目28単位以上、専門科目76単位以上、合計132単位以上

3. 養護教諭一種免許取得の場合
(1)卒業要件132単位に含める科目と単位
共通教育科目　28単位に下記の選択科目を含める
選択科目「教育学概論Ⅰ」「セーフティプロモーション」「社会と人権（日本国憲法）」
「体育講義」「スポーツと健康」「情報リテラシーⅡ」「Reading Ⅱ」
「Process　Writing」「時事英語」の10単位

(2)卒業要件以外に取得する科目と単位
専門教育科目の内、
専門基礎科目　選択科目「環境と健康」1単位
専門科目　自由科目「学校保健」「養護学概説」4単位
教職科目
自由選択科目
「教育原理」「教職論」「教育制度論」「教育心理学」「特別支援教育」
「教育課程論」「道徳教育の理論と方法」「特別活動及び総合的な学習の指導法」
「教育の方法と技術」「生徒指導」「教育相談」「教育実習事前事後指導」
「教育実習（養護）」「教職インターンシップ」「教職実践演習（養護教諭）」21単位

以上、26単位と卒業要件132単位の合計158単位以上取得すること

4. 履修科目の登録の上限：49単位（年間）

【令和６年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通教育科目	宗教と人間	キリスト教と人間	1前	1								1
		現代とキリスト教	1後	1								1
		人間論（哲学）	3前	1								1
		宗教論	4後	1								1
	小計（4科目）			4	0	0	0	0	0	0	0	1
	社会と人間	心理学	1前		1							1
		教育学概論Ⅰ	1前		1		1					
		ライフサイエンス	1後	1								1
		社会学	1後		1							1
		サービスラーニング	2通年	1				1	3	1		5
		キャリア入門	1前	1				1				1
		セーフティプロモーション	2前		1			1				
		生活と化学	1後		1							1
		社会と人権（日本国憲法）	1後		2							1
		ジェンダー論	2前		1							1
		生命倫理	1後	1								1
	小計（11科目）			4	8	0	1	3	3	1	0	10
	表現・行動と人間	くらしと色彩	1後		1							1
		人と音楽	1前		1							1
		音楽療法入門	4後		1							1
		園芸療法入門	4後		1							1
		体育講義	1前		1							2
		スポーツと健康	1前		1							1
	小計（6科目）			0	6	0	0	0	0	0	0	6
	情報と人間	文章表現	1前		1							2
		クリティカル・シンキング	2後	1								2
		基礎ゼミ	1前	1			2	1	2			5
		教養ゼミ	1後	1			3	1	1			5
		社会調査法	2後		1		1			1		1
		データサイエンス	2前		1		1					
		情報倫理	1前	1						1		1
		情報リテラシーⅠ	1前	1						1		1
		情報リテラシーⅡ	1後		1					1		1
	小計（9科目）			5	4	0	3	2	2	1	0	11
	言語・文化と人間	Speaking & Listening	1前・後	1								1
		Writing	1前・後	1								2
		Reading Ⅰ	1前・後	1								2
		Reading Ⅱ	2前・後		1							3
		Process Writing	2前・後		1							2
		時事英語	4前・後		1							1
		医療英語	3前・後		1							1
		フランス語Ⅰ	1前		1							2
		フランス語Ⅱ	1後		1							1
		異文化交流（海外語学研修）（未開講）	1前		2		1		1			3
		国際理解（カンボジア研修）（未開講）	1前		1		1		1			2
		文化人類学（異文化理解）	1前		1							1
	小計（12科目）			3	10	0	1	0	1	0	0	9

【令和５年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通教育科目	宗教と人間	キリスト教と人間	1前	1								1
		現代とキリスト教	1後	1								1
		人間論（哲学）	3前	1								1
		宗教論	4後	1								1
	小計（4科目）			4	0	0	0	0	0	0	0	1
	社会と人間	心理学	1前		1							1
		教育学概論Ⅰ	1前		1		1					
		ライフサイエンス	1後	1								1
		社会学	1後		1							1
		サービスラーニング	2通年	1				1	3	1		5
		キャリア入門	1前	1				1				1
		セーフティプロモーション	2前		1			1				
		生活と化学	1後		1							1
		社会と人権（日本国憲法）	1後		2							1
		ジェンダー論	2前		1							1
		生命倫理	1後	1								1
	小計（11科目）			4	8	0	1	3	3	1	0	10
	表現・行動と人間	くらしと色彩	1後		1							1
		人と音楽	1前		1							1
		音楽療法入門	4後		1							1
		園芸療法入門	4後		1							1
		体育講義	1前		1							2
		スポーツと健康	1前		1							1
	小計（6科目）			0	6	0	0	0	0	0	0	6
	情報と人間	文章表現	1前		1							2
		クリティカル・シンキング	2後	1								2
		基礎ゼミ	1前	1			2	1	2			5
		教養ゼミ	1後	1			3	1	1			5
		社会調査法	2後		1		1			1		1
		データサイエンス	2前		1		1					
		情報倫理	1前	1						1		1
		情報リテラシーⅠ	1前	1						1		1
		情報リテラシーⅡ	1後		1					1		1
	小計（9科目）			5	4	0	3	2	2	1	0	11
	言語・文化と人間	Speaking & Listening	1前・後	1								1
		Writing	1前・後	1								2
		Reading Ⅰ	1前・後	1								2
		Reading Ⅱ	2前・後		1							3
		Process Writing	2前・後		1							2
		時事英語	4前・後		1							1
		医療英語	3前・後		1							1
		フランス語Ⅰ	1前		1							2
		フランス語Ⅱ	1後		1							1
		異文化交流（海外語学研修）（未開講）	1前		2		1		1			3
		国際理解（カンボジア研修）（未開講）	1前		1		1		1			2
		文化人類学（異文化理解）	1前		1							1
	小計（12科目）			3	10	0	1	0	1	0	0	9

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門教育科目	専門基礎科目	人体の構造と機能（解剖学）	1前	1			1					0
		人体の構造と機能Ⅰ	1前	2			1					
		人体の構造と機能Ⅱ	1後	1			1					
		人体の構造と機能Ⅲ	1後	1			1					
		生化学	1後	1								1
		微生物学・免疫学	1後	1								1
		生命科学	1後	2								1
		疾病治療論Ⅰ	1後	2								1
		疾病治療論Ⅱ	2前	2								1
		疾病治療論Ⅲ	2後	1								1
		疾病治療論Ⅳ	2後	1			1					0
		栄養学	2前	1								1
		病理学	2前	2								1
		心のしくみと働き	1前	1								1
		臨床薬理学	2後	1								1
		発達心理学	2前		1							1
		生活機能論	2前	1			1					
		健康教育論	2前	1			2					
		環境と健康	2前		1		1					1
		社会健康学	2前	1			1					
		社会心理学	1前	1								1
		家族社会学	1後		1							1
		医療倫理	2前	1								1
		社会福祉論	1前	1								1
		保健統計学	2前	1			1					
		公衆衛生学（疫学	2前	1								1
	小計（26科目）			28	3	0	5	1	0	0	0	13
	専門科目	看護の基盤 看護概論	1前	1			1					
		看護倫理	2前	1			2					
		基礎技術Ⅰ	1前	2			1	2	1	1	2	
		基礎技術Ⅱ	1後	2			1	3	1	1	2	
		ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅠ	2前	2			1	1		1	2	
		ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ	2後	2			3	2	4	2	1	
		看護理論	2前	1			3					1
		臨床判断論	2前	1			2	1	0	1		
		ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ	2前	1				1				
		家族看護論	2後	1			1					
		看護教育学Ⅰ	3前	1			2					
		ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ	1後	1			2	4	6	1	5	
		ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ	2後	2			1	3	6	1	5	
		小計（13科目）		18	0	0	12	4	8	2	5	1
		ライフサイクルと看護 生涯発達看護論Ⅰ（母性）	2前	2			2		1			
		生活機能支援論Ⅰ－①（母性）	2後	1			1		1		1	
		生活機能支援論Ⅰ－②（母性）	3通年	1			1		1		1	
		生活機能支援論実習Ⅰ（母性）	3前	2			1		1		1	
		生涯発達看護論Ⅱ（小児）	2前	2			2		1			
		生活機能支援論Ⅱ－①（小児）	2後	1			1	1	2		1	
		生活機能支援論Ⅱ－②（小児）	3通年	1			1		2		1	
		生活機能支援論実習Ⅱ（小児）	3前	2			1		2		1	
		生涯発達看護論Ⅲ（成人）	2前	1			1					
		生活機能支援論Ⅲ－①（急性）	2後	1			1				2	
		生活機能支援論Ⅲ－②（慢性）	2後	1			2				2	
		生活機能支援論Ⅲ－③（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ）	3前	1			1	1			2	1
		生活機能支援論Ⅲ－④（急性）	3後	1			1				2	
		生活機能支援論Ⅲ－⑤（慢性）	3後	1			2				2	
		生活機能支援論実習Ⅲ－①（急性）	3後	3			1				2	
		生活機能支援論実習Ⅲ－②（慢性）	3後	3			2				2	
		生涯発達看護論Ⅳ（老年）	2前	1			1					
		生活機能支援論Ⅳ－①（老年）	2後	2			1	1				1
		生活機能支援論Ⅳ－②（老年）	3後	1			1	1			2	
		生活機能支援論実習Ⅳ－①（老年）	1前	1			2	2	3	1	6	
		生活機能支援論実習Ⅳ－②（老年）	3後	2			1	1			2	
		エンドオブライフケア論	3前	1			1		1			
	小計（22科目）			32	0	0	9	3	6	2	9	2

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門教育科目	専門基礎科目	人体の構造と機能（解剖学）	1前	1			1					0
		人体の構造と機能Ⅰ	1前	2			1					
		人体の構造と機能Ⅱ	1後	1			1					
		人体の構造と機能Ⅲ	1後	1			1					
		生化学	1後	1								1
		微生物学・免疫学	1後	1								1
		生命科学	1後	2								1
		疾病治療論Ⅰ	1後	2								1
		疾病治療論Ⅱ	2前	2								1
		疾病治療論Ⅲ	2後	1								1
		疾病治療論Ⅳ	2後	1			1					0
		栄養学	2前	1								1
		病理学	2前	2								1
		心のしくみと働き	1前	1								1
		臨床薬理学	2後	1								1
		発達心理学	2前		1							1
		生活機能論	2前	1			1					
		健康教育論	2前	1			2					
		環境と健康	2前		1		1					1
		社会健康学	2前	1			1					
		社会心理学	1前	1								1
		家族社会学	1後		1							1
		医療倫理	2前	1								1
		社会福祉論	1前	1								1
		保健統計学	2前	1			1					
		公衆衛生学（疫学	2前	1								1
	小計（26科目）			28	3	0	5	1	0	0	0	13
	専門科目	看護の基盤 看護概論	1前	1			1					
		看護倫理	2前	1			2					
		基礎技術Ⅰ	1前	2			1	2	1	1	2	
		基礎技術Ⅱ	1後	2			1	3	1	1	2	
		ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅠ	2前	2			1	1		1	2	
		ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ	2後	2			3	2	4	2	1	
		看護理論	2前	1			3					1
		臨床判断論	2前	1			2	1	0	1		
		ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ	2前	1				1				
		家族看護論	2後	1			1					
		看護教育学Ⅰ	3前	1			2					
		ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ	1後	1			2	4	6	1	5	
		ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ	2後	2			1	3	6	1	5	
		小計（13科目）		18	0	0	12	4	8	2	5	1
		ライフサイクルと看護 生涯発達看護論Ⅰ（母性）	2前	2			2		1			
		生活機能支援論Ⅰ－①（母性）	2後	1			1		1		1	
		生活機能支援論Ⅰ－②（母性）	3通年	1			1		1		1	
		生活機能支援論実習Ⅰ（母性）	3前	2			1		1		1	
		生涯発達看護論Ⅱ（小児）	2前	2			2		1			
		生活機能支援論Ⅱ－①（小児）	2後	1			1	1	2		1	
		生活機能支援論Ⅱ－②（小児）	3通年	1			1		2		1	
		生活機能支援論実習Ⅱ（小児）	3前	2			1		2		1	
		生涯発達看護論Ⅲ（成人）	2前	1			1					
		生活機能支援論Ⅲ－①（急性）	2後	1			1				2	
		生活機能支援論Ⅲ－②（慢性）	2後	1			2				2	
		生活機能支援論Ⅲ－③（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ）	3前	1			1	1			2	1
		生活機能支援論Ⅲ－④（急性）	3後	1			1				2	
		生活機能支援論Ⅲ－⑤（慢性）	3後	1			2				2	
		生活機能支援論実習Ⅲ－①（急性）	3後	3			1				2	
		生活機能支援論実習Ⅲ－②（慢性）	3後	3			2				2	
		生涯発達看護論Ⅳ（老年）	2前	1			1					
		生活機能支援論Ⅳ－①（老年）	2後	2			1	1				1
		生活機能支援論Ⅳ－②（老年）	3後	1			1	1			2	
		生活機能支援論実習Ⅳ－①（老年）	1前	1			2	2	3	1	6	
		生活機能支援論実習Ⅳ－②（老年）	3後	2			1	1			2	
		エンドオブライフケア論	3前	1			1		1			
	小計（22科目）			32	0	0	9	3	6	2	9	2

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
専門教育科目	専門科目	コミュニティと看護	メンタルヘルス・アセスメント	1前	1					2			
			メンタルヘルス・プロモーション	2前	1								1
			生活機能支援論Ⅴ－①（精神）	2後	1				0	1	1	1	
			生活機能支援論Ⅴ－②（精神）	3通年	1				0	2	1	1	
			生活機能支援論実習Ⅴ（精神）	3前	2				0	2	1	1	
			地域包括ケア論Ⅰ（在宅）	2後	2			1	1				
			地域包括ケア論Ⅱ（在宅・地域）	3前	1				1	1	1		
			地域包括ケア論Ⅲ（地域・学校）	3前	1			2					
			地域包括ケア論Ⅳ（在宅）	4後	1			2	1	1	1		
			地域包括ケア論実習Ⅰ（老年）	4前	1			1	1	0		2	
			地域包括ケア論実習Ⅱ（在宅）	4前	2				1	1	1	6	
			地域包括ケア論実習Ⅲ－①（統合：管理）	4前	1			1		1			
			地域包括ケア論実習Ⅲ－②（統合：地域）	4前	1			2					
			チーム医療論	3前	1			2		1			
			学校保健	3前			2		1				
			養護学概説	3前			2		1				1
		小計（16科目）			17	0	4	5	2	5	2	9	2
		看護の発展	看護マネジメント論Ⅰ	4前	2			2		1			
			看護マネジメント論Ⅱ	4後		1		1		1			
			国際看護Ⅰ	3前	1			2		1			
			国際看護Ⅱ	4前		1				1			
			災害看護Ⅰ	3前	1			1		1			
			災害看護Ⅱ	4後		1				1			
			ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ	3通年	1			4	1				1
			看護研究Ⅰ	3前	1			2		1			
			看護研究Ⅱ	3後	1			11	3	7	1		
			看護研究Ⅲ	4前	1			12	3	7	1		
			看護研究Ⅳ	4後	1			12	3	7	1		
			専門職論	4前		1		2					
			看護政策論	4後		1		1					
			看護教育学Ⅱ	4後		1		1					
		小計（14科目）			9	6	0	12	3	7	1	0	1
	教職科目	教育の基礎的理解に関する科目	教育原理	1後			2						1
			教職論	1後			1	1					
			教育制度論	1後			1						1
			教育心理学	1後			2						1
			特別支援教育	3前			1						1
			教育課程論	3前			1						1
		小計（6科目）			0	0	8	1	0	0	0	0	5
			道徳教育の理論と方法	3前			1						1
			特別活動及び総合的な学習の指導法	3前			1						1
			教育の方法と技術	3前			2	1			1		
			生徒指導	3前			1						1
			教育相談	3前			1						1
		小計（5科目）			0	0	6	1	0	0	1	0	3
		教育実践に関する科目	事前及び事後指導（養護）	4通			1		1				
			養護実習	4通			2		1				
			教職インターンシップ	3後～4前			2		1				
			教職実践演習（養護教諭）	4後			2		1				
		小計（4科目）											
合計（148科目）					182	57	29	12	4	8	5	9	46

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
専門教育科目	専門科目	コミュニティと看護	メンタルヘルス・アセスメント	1前	1					2			
			メンタルヘルス・プロモーション	2前	1								1
			生活機能支援論Ⅴ－①（精神）	2後	1				0	1	1	1	
			生活機能支援論Ⅴ－②（精神）	3通年	1				0	2	1	1	
			生活機能支援論実習Ⅴ（精神）	3前	2				0	2	1	1	
			地域包括ケア論Ⅰ（在宅）	2後	2			1	1				
			地域包括ケア論Ⅱ（在宅・地域）	3前	1				1	1	1		
			地域包括ケア論Ⅲ（地域・学校）	3前	1			2					
			地域包括ケア論Ⅳ（在宅）	4後	1			2	1	1	1		
			地域包括ケア論実習Ⅰ（老年）	4前	1			1	1	0		2	
			地域包括ケア論実習Ⅱ（在宅）	4前	2				1	1	1	6	
			地域包括ケア論実習Ⅲ－①（統合：管理）	4前	1			1		1			
			地域包括ケア論実習Ⅲ－②（統合：地域）	4前	1			2					
			チーム医療論	3前	1			2		1			
			学校保健	3前			2		1				
			養護学概説	3前			2		1				1
		小計（16科目）			17	0	4	5	2	5	2	9	2
		看護の発展	看護マネジメント論Ⅰ	4前	2			2		1			
			看護マネジメント論Ⅱ	4後		1		1		1			
			国際看護Ⅰ	3前	1			2		1			
			国際看護Ⅱ	4前		1				1			
			災害看護Ⅰ	3前	1			1		1			
			災害看護Ⅱ	4後		1				1			
			ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ	3通年	1			4	1				1
			看護研究Ⅰ	3前	1			2		1			
			看護研究Ⅱ	3後	1			11	3	7	1		
			看護研究Ⅲ	4前	1			12	3	7	1		
			看護研究Ⅳ	4後	1			12	3	7	1		
			専門職論	4前		1		2					
			看護政策論	4後		1		1					
			看護教育学Ⅱ	4後		1		1					
		小計（14科目）			9	6	0	12	3	7	1	0	1
	教職科目	教育の基礎的理解に関する科目	教育原理	1後			2						1
			教職論	1後			1	1					
			教育制度論	1後			1						1
			教育心理学	1後			2						1
			特別支援教育	3前			1						1
			教育課程論	3前			1						1
		小計（6科目）			0	0	8	1	0	0	0	0	5
			道徳教育の理論と方法	3前			1						1
			特別活動及び総合的な学習の指導法	3前			1						1
			教育の方法と技術	3前			2	1			1		
			生徒指導	3前			1						1
			教育相談	3前			1						1
		小計（5科目）			0	0	6	1	0	0	1	0	3
		教育実践に関する科目	事前及び事後指導（養護）	4通			1		1				
			養護実習	4通			2		1				
			教職インターンシップ	3後～4前			2		1				
			教職実践演習（養護教諭）	4後			2		1				
		小計（4科目）											
合計（148科目）					182	57	29	13	4	8	5	9	46

卒業要件及び履修方法

1. 共通教育科目（計28単位以上）
(1)宗教と人間　必修4単位
(2)社会と人間　必修4単位
(3)表現・行動と人間
くらしと色彩、人と音楽から1単位選択必修
(4)情報と人間　必修5単位
(5)言語・文化と人間　必修3単位
Reading Ⅱ、Process　Writing、時事英語、医療英語、フランス語Ⅰ、フランス語Ⅱ、異文化交流（海外語学研修）から3単位選択必修

上記以外に心理学、社会学、文化人類学（異文化理解）から1単位選択必修

2. 専門教育科目
(1)専門基礎科目　必修28単位
(2)専門科目　計76単位以上
①看護の基盤　必修18単位
②ライフサイクルと看護　必修32単位
③コミュニティと看護　必修17単位
④看護の発展　必修9単位
自由選択4単位は卒業要件に含まない。

以上、共通教育科目28単位以上、専門教育科目の内、専門基礎科目28単位以上、専門科目76単位以上、合計132単位以上

3. 養護教諭一種免許取得の場合
(1)卒業要件132単位に含める科目と単位
共通教育科目　28単位に下記の選択科目を含める
選択科目「教育学概論Ⅰ」「セーフティプロモーション」「社会と人権（日本国憲法）」
「体育講義」「スポーツと健康」「情報リテラシーⅡ」「Reading Ⅱ」
「Process　Writing」「時事英語」の10単位

(2)卒業要件以外に取得する科目と単位
専門教育科目の内、
専門基礎科目　選択科目「環境と健康」1単位
専門科目　自由科目「学校保健」「養護学概説」4単位
教職科目
自由選択科目
「教育原理」「教職論」「教育制度論」「教育心理学」「特別支援教育」
「教育課程論」「道徳教育の理論と方法」「特別活動及び総合的な学習の指導法」
「教育の方法と技術」「生徒指導」「教育相談」「教育実習事前事後指導」
「教育実習（養護）」「教職インターンシップ」「教職実践演習（養護教諭）」21単位

以上、26単位と卒業要件132単位の合計158単位以上取得すること

4. 履修科目の登録の上限：49単位（年間）

	小計（○科目）	－									
合計（○科目）		－									

卒業要件及び履修方法

（記入例）
必修科目24単位，専門基礎科目の選択科目から22単位，専門応用科目の選択科目から18単位以上を修得し，124単位以上修得すること。
（履修科目の登録の上限：44単位（年間））

卒業要件及び履修方法

1. 共通教育科目（計28単位以上）
(1)宗教と人間　必修4単位
(2)社会と人間　必修4単位
(3)表現・行動と人間
くらしと色彩、人と音楽から1単位選択必修
(4)情報と人間　必修5単位
(5)言語・文化と人間　必修3単位
Reading Ⅱ、Process　Writing、時事英語、医療英語、フランス語Ⅰ、フランス語Ⅱ、異文化交流（海外語学研修）から3単位選択必修

上記以外に心理学、社会学、文化人類学（異文化理解）から1単位選択必修

2. 専門教育科目
(1)専門基礎科目　必修28単位
(2)専門科目　計76単位以上
①看護の基盤　必修18単位
②ライフサイクルと看護　必修32単位
③コミュニティと看護　必修17単位
④看護の発展　必修9単位
自由選択4単位は卒業要件に含まない。

以上、共通教育科目28単位以上、専門教育科目の内、専門基礎科目28単位以上、専門科目76単位以上、合計132単位以上

3. 養護教諭一種免許取得の場合
(1)卒業要件132単位に含める科目と単位
共通教育科目　28単位に下記の選択科目を含める
選択科目「教育学概論Ⅰ」「セーフティプロモーション」「社会と人権（日本国憲法）」
「体育講義」「スポーツと健康」「情報リテラシーⅡ」「Reading Ⅱ」
「Process　Writing」「時事英語」の10単位

(2)卒業要件以外に取得する科目と単位
専門教育科目の内、
専門基礎科目　選択科目「環境と健康」1単位
専門科目　自由科目「学校保健」「養護学概説」4単位
教職科目
自由選択科目
「教育原理」「教職論」「教育制度論」「教育心理学」「特別支援教育」
「教育課程論」「道徳教育の理論と方法」「特別活動及び総合的な学習の指導法」
「教育の方法と技術」「生徒指導」「教育相談」「教育実習事前事後指導」
「教育実習（養護）」「教職インターンシップ」「教職実践演習（養護教諭）」21単位

以上、26単位と卒業要件132単位の合計158単位以上取得すること

4. 履修科目の登録の上限：49単位（年間）

	小計（○科目）	－									
合計（○科目）		－									

卒業要件及び履修方法

（記入例）
必修科目24単位，専門基礎科目の選択科目から22単位，専門応用科目の選択科目から18単位以上を修得し，124単位以上修得すること。
（履修科目の登録の上限：44単位（年間））

【令和４年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通教育科目	宗教と人間	キリスト教と人間	1前	1								1
		現代とキリスト教	1後	1								1
		人間論（哲学）	3前	1								1
		宗教論	4後	1								1
	小計（4科目）			4	0	0	0	0	0	0	0	2
	社会と人間	心理学	1前		1							1
		教育学概論Ⅰ	1前		1		1					
		ライフサイエンス	1後	1								1
		社会学	1後		1							1
		サービスラーニング	2通年	1				1	3	1		5
		キャリア入門	1前	1				1				1
		セーフティプロモーション	2前		1			1				
		生活と化学	1後		1							1
		社会と人権（日本国憲法）	1後		2							1
		ジェンダー論	2前		1							1
		生命倫理	1後	1								1
	小計（11科目）			4	8	0	1	3	3	1	0	10
	表現・行動と人間	くらしと色彩	1後		1							1
		人と音楽	1前		1							1
		音楽療法入門	4後		1							1
		園芸療法入門	4後		1							1
		体育講義	1前		1							2
		スポーツと健康	1前		1							1
	小計（6科目）			0	6	0	0	0	0	0	0	6
	情報と人間	文章表現	1前		1							2
		クリティカル・シンキング	2後	1								2
		基礎ゼミ	1前	1			2		2			5
		教養ゼミ	1後	1			3	1	1			5
		社会調査法	2後		1		1			1		1
		データサイエンス	2前		1		1					
		情報倫理	1前	1						1		1
	情報と人間	情報リテラシーⅠ	1前	1						1		1
		情報リテラシーⅡ	1後		1					1		1
	小計（9科目）			5	4	0	3	1	2	1	0	11
		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
	言語・文化と人間	Speaking & Listening	1前・後	1								1
		Writing	1前・後	1								2
		Reading Ⅰ	1前・後	1								2
		Reading Ⅱ	2前・後		1							3
		Process Writing	2前・後		1							1
		時事英語	4前・後		1							1
		医療英語	3前・後		1							1
		フランス語Ⅰ	1前		1							1
		フランス語Ⅱ	1後		1							1
		異文化交流（海外語学研修）（未開講）	1前		2		1		1			3
		国際理解（カンボジア研修）（未開講）	1前		1		1		1			2
		文化人類学（異文化理解）	1前		1							1
	小計（12科目）			3	10	0	1	0	1	0	0	8

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
専門教育科目	専門基礎科目	人体の構造と機能（解剖学）	1前	1								1
		人体の構造と機能Ⅰ	1前	2			1					
		人体の構造と機能Ⅱ	1後	1			1					
		人体の構造と機能Ⅲ	1後	1			1					
		生化学	1後	1								1
		微生物学・免疫学	1後	1								1
		生命科学	1後	2								1
		疾病治療論Ⅰ	1後	2								1
		疾病治療論Ⅱ	2前	2								1
		疾病治療論Ⅲ	2後	1								1
		疾病治療論Ⅳ	2後	1								1
		栄養学	2前	1								1
		病理学	2前	2								1
		心のしくみと働き	1前	1								1
		臨床薬理学	2後	1								1
		発達心理学	2前		1							1
		生活機能論	2前	1			1					
		健康教育論	2前	1			2					
		環境と健康	2前		1		1					1
		社会健康学	2前	1			1					
		社会心理学	1前	1								1
		家族社会学	1後		1							1
		医療倫理	2前	1								1
		社会福祉論	1前	1								1
		保健統計学	2前	1			1					
		公衆衛生学（疫学	2前	1								1
	小計（26科目）			28	3	0	5	1	0	0	0	15
	専門科目	看護の基盤 看護概論	1前	1			1					
		看護倫理	2前	1			2					
		基礎技術Ⅰ	1前	2			1	1	1	1	2	
		基礎技術Ⅱ	1後	2			1	2	1	1	2	
		ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅠ	2前	2			1	1		1	2	
		ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ	2後	2			3	2	4	1	1	
		看護理論	2前	1			3					1
		臨床判断論	2前	1			2		0	1		
		ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ	2前	1				1				
		家族看護論	2後	1			1					
		看護教育学Ⅰ	3前	1			2					
		ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ	1後	1			2	3	6	1	5	
		ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ	2後	2			1	2	6	2	5	
		小計（13科目）		18	0	0	12	4	8	2	5	1
		ライフサイクルと看護 生涯発達看護論Ⅰ（母性）	2前	2			2		1			
		生活機能支援論Ⅰ－①（母性）	2後	1			1		1		1	
		生活機能支援論Ⅰ－②（母性）	3通年	1			1		1		1	
		生活機能支援論実習Ⅰ（母性）	3前	2			1		1		1	
		生涯発達看護論Ⅱ（小児）	2前	2			2		1			
		生活機能支援論Ⅱ－①（小児）	2後	1			1	1	2		1	
		生活機能支援論Ⅱ－②（小児）	3通年	1			1		2		1	
		生活機能支援論実習Ⅱ（小児）	3前	2			1		2		1	
		生涯発達看護論Ⅲ（成人）	2前	1			1					
		生活機能支援論Ⅲ－①（急性）	2後	1			1			1	2	
		生活機能支援論Ⅲ－②（慢性）	2後	1			2			1	2	
		生活機能支援論Ⅲ－③（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ）	3前	1			1	1		1	2	1
		生活機能支援論Ⅲ－④（急性）	3後	1			1			1	2	
		生活機能支援論Ⅲ－⑤（慢性）	3後	1			2			1	2	
		生活機能支援論実習Ⅲ－①（急性）	3後	3			1			1	2	
		生活機能支援論実習Ⅲ－②（慢性）	3後	3			2			1	2	
		生涯発達看護論Ⅳ（老年）	2前	1			1					
		生活機能支援論Ⅳ－①（老年）	2後	2			1		0			1
		生活機能支援論Ⅳ－②（老年）	3後	1			1		0		2	
		生活機能支援論実習Ⅳ－①（老年）	1前	1			2	1	3	1	6	
		生活機能支援論実習Ⅳ－②（老年）	3後	2			1		0		2	
		エンドオブライフケア論	3前	1			1		1			
		小計（22科目）		32	0	0	9	2	6	2	9	2

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
専門教育科目	専門科目	コミュニティと看護	メンタルヘルス・アセスメント	1前	1				0	2			
			メンタルヘルス・プロモーション	2前	1								1
			生活機能支援論Ⅴ－①（精神）	2後	1				1	1		1	
			生活機能支援論Ⅴ－②（精神）	3通年	1				1	2		1	
			生活機能支援論実習Ⅴ（精神）	3前	2				1	2		1	
			地域包括ケア論Ⅰ（在宅）	2後	2			1	1				
			地域包括ケア論Ⅱ（在宅・地域）	3前	1				1	1	1		
			地域包括ケア論Ⅲ（地域・学校）	3前	1			2					
			地域包括ケア論Ⅳ（在宅）	4後	1			2	1	1	1		
			地域包括ケア論実習Ⅰ（老年）	4前	1			1		0		2	
			地域包括ケア論実習Ⅱ（在宅）	4前	2				1	1	1	6	
			地域包括ケア論実習Ⅲ－①（統合：管理）	4前	1			1		1			
			地域包括ケア論実習Ⅲ－②（統合：地域）	4前	1			2					
			チーム医療論	3前	1			2		1			
			学校保健	3前			2		1				
			養護学概説	3前			2		1				1
		小計（16科目）			17	0	4	5	3	4	1	9	2
		看護の発展	看護マネジメント論Ⅰ	4前	2			2		1			
			看護マネジメント論Ⅱ	4後		1		1		1			
			国際看護Ⅰ	3前	1			2		1			
			国際看護Ⅱ	4前		1				1			
			災害看護Ⅰ	3前	1			1		1			
			災害看護Ⅱ	4後		1				1			
			ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ	3通年	1			4	1				1
			看護研究Ⅰ	3前	1			2		1			
			看護研究Ⅱ	3後	1			11	4	7			
			看護研究Ⅲ	4前	1			12	4	7			
			看護研究Ⅳ	4後	1			12	4	7			
			専門職論	4前		1		2					
			看護政策論	4後		1		1					
			看護教育学Ⅱ	4後		1		1					
		小計（14科目）			9	6	0	12	4	7	0	0	1
	教職科目	教育の基礎的理解に関する科目	教育原理	1後			2						1
			教職論	1後			1	1					
			教育制度論	1後			1						1
			教育心理学	1後			2						1
			特別支援教育	3前			1						1
			教育課程論	3前			1						1
		小計（6科目）			0	0	8	1	0	0	0	0	5
			道徳教育の理論と方法	3前			1						1
			特別活動及び総合的な学習の指導法	3前			1						1
			教育の方法と技術	3前			2	1			1		
			生徒指導	3前			1						1
			教育相談	3前			1						1
		小計（5科目）			0	0	6	1	0	0	1	0	3
		教育実践に関する科目	事前及び事後指導（養護）	4通			1		1				
			養護実習	4通			2		1				
			教職インターンシップ	3後～4前			2		1				
			教職実践演習（養護教諭）	4後			2		1				
		小計（4科目）			0	0	7	0	1	0	0	0	0
合計（148科目）					180	57	29	13	4	8	4	9	48

卒業要件及び履修方法
1. 共通教育科目（計28単位以上） (1)宗教と人間　必修4単位 (2)社会と人間　必修4単位 (3)表現・行動と人間 くらしと色彩、人と音楽から1単位選択必修 (4)情報と人間　必修5単位 (5)言語・文化と人間　必修3単位 Reading Ⅱ、Process　Writing、時事英語、医療英語、フランス語Ⅰ、フランス語Ⅱ、異文化交流（海外語学研修）から3単位選択必修 上記以外に心理学、社会学、文化人類学（異文化理解）から1単位選択必修 2. 専門教育科目 (1)専門基礎科目　必修28単位 (2)専門科目　計76単位以上 ①看護の基盤　必修18単位 ②ライフサイクルと看護　必修32単位 ③コミュニティと看護　必修17単位 ④看護の発展　必修9単位 自由選択4単位は卒業要件に含まない。 以上、共通教育科目28単位以上、専門教育科目の内、専門基礎科目28単位以上、専門科目76単位以上、合計132単位以上 3. 養護教諭一種免許取得の場合 (1)卒業要件132単位に含める科目と単位 共通教育科目　28単位に下記の選択科目を含める 選択科目「教育学概論Ⅰ」「セーフティプロモーション」「社会と人権（日本国憲法）」 「体育講義」「スポーツと健康」「情報リテラシーⅡ」「Reading Ⅱ」 「Process　Writing」「時事英語」の10単位 (2)卒業要件以外に取得する科目と単位 専門教育科目の内、 専門基礎科目　選択科目「環境と健康」1単位 専門科目　自由科目「学校保健」「養護学概説」4単位 教職科目 自由選択科目 「教育原理」「教職論」「教育制度論」「教育心理学」「特別支援教育」 「教育課程論」「道徳教育の理論と方法」「特別活動及び総合的な学習の指導法」 「教育の方法と技術」「生徒指導」「教育相談」「教育実習事前事後指導」 「教育実習（養護）」「教職インターンシップ」「教職実践演習（養護教諭）」21単位 以上、26単位と卒業要件132単位の合計158単位以上取得すること 4. 履修科目の登録の上限：49単位（年間）

(注)・ 報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・ 認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・ １ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・ 不要な年度（令和６年度開設であれば令和５年度以前）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に（新）又は（旧）と追記してください。
（例：記載順）【認可時又は届出時】→【令和７年度】(新)→【令和６年度】(新)→【令和５年度】→【令和４年度】→【令和７年度】(旧)→【令和６年度】(旧)

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【令和４年度】

特になし。

【令和５年度】

・講師就任辞退により、「ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ」「臨床判断論」「ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ」「ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ」「生活機能支援論Ⅳ－①(老年)」「生活機能支援論Ⅳ－②(老年)」「生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年)」「生活機能支援論実習Ⅳ－②(老年)」「地域包括ケア論実習Ⅰ(老年)」の専任教員配置を「講師」を１減じ、「准教授」を１増にそれぞれ変更。
・兼任講師の辞任により、「人体の構造と機能(解剖学)」を「兼任１」から「教授１」に変更。
・兼任講師の辞任により、「疾病治療論Ⅳ」を「兼任１」から「教授１」に変更。
・准教授就任辞退により、「ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ」「生活機能支援論Ⅴ－①(精神)」「生活機能支援論Ⅴ－②(精神)」「生活機能支援論実習Ⅴ(精神)」の「准教授」を１減じ、「助教」を１増にそれぞれ変更。

【令和６年度】

・教授1名の退職により「健康教育論」を複数担当として教授1名助教1名に変更。「基礎ゼミ」助教1名、「教養ゼミ」准教授1名に変更。
「看護研究Ⅰ」「看護研究Ⅱ」「看護研究Ⅲ」「看護研究Ⅳ」は准教授1名に変更。
「看護研究Ⅰ」「看護研究Ⅱ」は教授1名を追加。
「社会健康学」「地域包括ケア論Ⅲ(地域・学校)」は兼任講師に変更。

・助教1名の就任により「ヒューマンケア実習Ⅱ」「生活機能支援論Ⅲ－①(急性)」「生活機能支援論Ⅲ－③(ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ)」「生活機能支援論Ⅲ－④(急性)」「生活機能支援論実習Ⅲ－①(急性)」を担当。
・兼任講師1名辞退により「医療英語」を教授1名と兼任講師1名が担当。
・兼任講師1名辞退により「メンタルヘルス・プロモーション」を専任教授1名と兼任講師2名に変更。

【令和７年度】

・教授1名の退職により令和6年度「健康教育論」を複数担当として教授1名助教1名としていたが、令和7年度に更に教授1名を追加。
・専任講師1名の退職により「ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ」「生涯発達看護論Ⅱ(小児)」「生活機能支援論Ⅱ－①(小児)」「生活機能支援論Ⅱ－②(小児)」「生活機能支援論実習Ⅱ(小児)」「看護研究Ⅱ」「看護研究Ⅲ」「看護研究Ⅳ」を令和7年就任の専任准教授に変更。

・教育効果の向上を図るため、「地域包括ケア論Ⅱ（在宅・地域）」を「３前」から「３後」に変更。
・教育効果の向上を図るため、「国際看護Ⅰ」を「３前」から「３後」に変更。

(注)・ ２（１）－① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度（令和６年度開設であれば令和５年度以前）の表は適宜削除してください。
・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ１つの枠内に記入してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
96 科目	35 科目	17 科目	148 科目	96 科目 ［ 0 ］	35 科目 ［ 0 ］	17 科目 ［ 0 ］	148 科目 ［ 0 ］	

(注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［ ］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）
・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

（注）・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。
なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、
学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（６）「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{148} = \boxed{0}\ \%$$

(注)・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	9773㎡	2028.96㎡	11317㎡	23118.96㎡	
	運動場用地	0㎡	12679.66㎡	0㎡	12679.66㎡	
	小計	9773㎡	14708.62㎡	11317㎡	35798.62㎡	
	その他	63478㎡	492.98㎡	0㎡	63970.98㎡	
	合計	73251㎡	15201.6㎡	11317㎡	99769.6㎡	
(2) 校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
		16134.53㎡ (16134.53㎡)	9954.23㎡ (9954.23㎡)	17861.33㎡ (17861.33㎡)	43950.09㎡ (43950.09㎡)	

(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	備考
	27室	演習室　32 ﾗｰﾆﾝｸﾞｺﾓﾝｽﾞ 4 ~~演習室　30~~ ~~ﾗｰﾆﾝｸﾞｺﾓﾝｽﾞ 3~~ 室	6 ~~9~~ 室	2室 (補助職員　1　人)	室 (補助職員 －人)	部屋数誤記訂正（４）

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	備考
	看護学部　看護学科	18　室	

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書〔うち外国書〕 冊	学術雑誌〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	備考
	看護学部	47,467〔2,792〕 ~~45,131〔2,560〕~~ (47,186〔2,542〕) ~~(44,850〔2,435〕)~~	27〔 4 〕 (20〔 0 〕)	4〔 0 〕 (－〔 －〕)	1067 (1,041)	1,350 (1,150)	150 (128)	絶版、廃版、価格変更による設置計画時からの変更（４）
	計	47,467〔2,792〕 ~~45,131〔2,560〕~~ (47,186〔2,542〕) ~~(44,850〔2,435〕)~~	27〔 4 〕 (20〔 0 〕)	4〔 0 〕 (－〔 －〕)	1067 (1,041)	1,350 (1,150)	150 (128)	

(6) 図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	備考
	2482.98㎡	343	190000	

(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要		備考
	4556.13㎡	フットサルコート（人工芝） ~~テニスコート 2 面~~	屋内25mﾌﾟｰﾙ,子ども用ﾌﾟｰﾙ　各1面	改修のため（５）

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	備考
経費の見積り	教員１人当り研究費等	250千円	250千円	図書購入費	2,110 ~~2,003~~ 千円	1004千円	0千円	図書購入費：絶版、廃版、価格変更による設置計画時からの変更（４） ※教授・准教授：250千円 講師・助教：200千円
	共同研究費等	2000千円	3000千円	設備購入費	11699千円	0千円	0千円	

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	17500千円	17500千円	1700千円	1700千円	千円	千円

学生納付金以外の維持方法の概要	手数料収入、補助金（私立大学等経常費補助金）収入、資産運用収入、事業収入そして雑収入を充当する

(注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。
（複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・「(５)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の５月１日現在の数値を記入してください。

・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（６）」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・ 国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４　既設大学等の状況

大 学 の 名 称	大阪信愛学院大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定　員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	備　　考			
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度					
教育学部														
教育学科	4	80	0	320	学士 （教育学）	0.45	－	－	令和4	大阪府大阪市城東区古市2丁目7番30号				
看護学部														
看護学科	4	80	0	320	学士 （看護学）	0.99	－	－	令和4	同上				
大学全体	4	160	0	640	－	0.72	－	－	令和4	同上				

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等
（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、
「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「－」とした上で、「非表示」設定としてください。
・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ＡＣの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「収容定員充足率」には、報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和８年度開設用）Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」
第１条第２項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第２項及び第４項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の**学科**については、**必ず太字にしてください**。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。
詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

５　教員組織の状況

＜看護学部　看護学科＞

看護

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授（学長）（学部長・R4のみ）	岩澤　和子 (65) ＜令和4年4月＞ 看護学修士	健康教育論※ 看護教育学Ⅰ※ 生涯発達看護論Ⅱ（小児）※ 地域包括ケア論Ⅰ（在宅）※ 地域包括ケア論Ⅲ（地域・学校）※ 地域包括ケア論Ⅳ（在宅）※ 地域包括ケア論実習Ⅲ－②（統合：地域） チーム医療論※ 看護マネジメント論Ⅰ※ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ 看護政策論
専	教授（R5年～副学長・学部長）	遠藤　俊子 (69) ＜令和5年4月＞ 博士（医科学）	看護理論※ 生涯発達看護論Ⅰ（母性）※ 生活機能支援論Ⅰ－①（母性）※ 生活機能支援論Ⅰ－②（母性） 生活機能支援論実習Ⅰ（母性） ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ※ 看護研究Ⅰ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	教授	深川　八郎 (72) ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）	教育学概論Ⅰ 教職論 教育の方法と技術※

【令和４年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授（学長）（学部長・R4のみ）	岩澤　和子 (66) ＜令和4年4月＞ 看護学修士	健康教育論※ 看護教育学Ⅰ※ 生涯発達看護論Ⅱ（小児）※ 地域包括ケア論Ⅰ（在宅）※ 地域包括ケア論Ⅲ（地域・学校）※ 地域包括ケア論Ⅳ（在宅）※ 地域包括ケア論実習Ⅲ－②（統合：地域） チーム医療論※ 看護マネジメント論Ⅰ※ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ 看護政策論
専	教授（R5年～副学長・学部長）	遠藤　俊子 (70) ＜令和5年4月＞ 博士（医科学）	看護理論※ 生涯発達看護論Ⅰ（母性）※ 生活機能支援論Ⅰ－①（母性）※ 生活機能支援論Ⅰ－②（母性） 生活機能支援論実習Ⅰ（母性） ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ※ 看護研究Ⅰ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	教授	深川　八郎 (73) ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）	教育学概論Ⅰ 教職論 教育の方法と技術※

【令和５年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授（学長）（学部長・R4のみ）	岩澤　和子 (67) ＜令和4年4月＞ 看護学修士	健康教育論※ 看護教育学Ⅰ※ 生涯発達看護論Ⅱ（小児）※ 地域包括ケア論Ⅰ（在宅）※ 地域包括ケア論Ⅲ（地域・学校）※ 地域包括ケア論Ⅳ（在宅）※ 地域包括ケア論実習Ⅲ－②（統合：地域） チーム医療論※ 看護マネジメント論Ⅰ※ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ 看護政策論
専	教授（R5年～副学長・学部長）	遠藤　俊子 (71) ＜令和5年4月＞ 博士（医科学）	看護理論※ 生涯発達看護論Ⅰ（母性）※ 生活機能支援論Ⅰ－①（母性）※ 生活機能支援論Ⅰ－②（母性） 生活機能支援論実習Ⅰ（母性） ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ※ 看護研究Ⅰ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	教授	深川　八郎 (74) ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）	教育学概論Ⅰ 教職論 教育の方法と技術※

【令和６年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授（学長）（学部長・R4のみ）	岩澤　和子 (68) ＜令和4年4月＞ 看護学修士	健康教育論 看護教育学Ⅰ 生涯発達看護論Ⅱ（小児）※ 地域包括ケア論Ⅰ（在宅）※ 地域包括ケア論Ⅲ（地域・学校）※ 地域包括ケア論Ⅳ（在宅）※ 地域包括ケア論実習Ⅲ－②（統合：地域） チーム医療論※ 看護マネジメント論Ⅰ※ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ 看護政策論
専	教授（R5年～副学長・学部長）	遠藤　俊子 (72) ＜令和5年4月＞ 博士（医科学）	看護理論※ 生涯発達看護論Ⅰ（母性）※ 生活機能支援論Ⅰ－①（母性）※ 生活機能支援論Ⅰ－②（母性） 生活機能支援論実習Ⅰ（母性） ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ※ 看護研究Ⅰ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	教授	深川　八郎 (75) ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）	教育学概論Ⅰ 教職論 教育の方法と技術※

【令和７年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授（学長）（学部長・R4のみ）	岩澤　和子 (69) ＜令和4年4月＞ 看護学修士	健康教育論 看護教育学Ⅰ 生涯発達看護論Ⅱ（小児）※ 地域包括ケア論Ⅰ（在宅）※ 地域包括ケア論Ⅲ（地域・学校）※ 地域包括ケア論Ⅳ（在宅）※ 地域包括ケア論実習Ⅲ－②（統合：地域） チーム医療論※ 看護マネジメント論Ⅰ※ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ 看護政策論
専	教授（R5年～副学長・学部長）	遠藤　俊子 (73) ＜令和5年4月＞ 博士（医科学）	看護理論※ 生涯発達看護論Ⅰ（母性）※ 生活機能支援論Ⅰ－①（母性）※ 生活機能支援論Ⅰ－②（母性） 生活機能支援論実習Ⅰ（母性） ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ※ 看護研究Ⅰ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	教授	深川　八郎 (76) ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）	教育学概論Ⅰ 教職論 教育の方法と技術※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	松井　幸子 (68) ＜令和5年4月＞ 修士(都市政策)	ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 生活機能支援論Ⅲ－①(急性)※ 生活機能支援論Ⅲ－③(ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ)※ 生活機能支援論Ⅲ－④(急性)※ 生活機能支援論実習Ⅲ－①(急性) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	教授	松尾　博哉 (65) ＜令和4年4月＞ 医学博士	人体の構造と機能Ⅰ 人体の構造と機能Ⅱ 人体の構造と機能Ⅲ 生涯発達看護論Ⅰ(母性)※ 国際看護Ⅰ※ 災害看護Ⅰ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	教授	楢木野　裕美 (64) ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)	看護倫理※ 家族看護論 生涯発達看護論Ⅱ(小児)※ 生活機能支援論Ⅱ－①(小児)※ 生活機能支援論Ⅱ－②(小児) 生活機能支援論実習Ⅱ(小児) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	松井　幸子 (69) ＜令和5年4月＞ 博士(保健学)	ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 生活機能支援論Ⅲ－①(急性)※ 生活機能支援論Ⅲ－③(ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ)※ 生活機能支援論Ⅲ－④(急性)※ 生活機能支援論実習Ⅲ－①(急性) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	教授	松尾　博哉 (66) ＜令和4年4月＞ 医学博士	人体の構造と機能Ⅰ 人体の構造と機能Ⅱ 人体の構造と機能Ⅲ 生涯発達看護論Ⅰ(母性)※ 国際看護Ⅰ※ 災害看護Ⅰ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	教授	楢木野　裕美 (65) ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)	看護倫理※ 家族看護論 生涯発達看護論Ⅱ(小児)※ 生活機能支援論Ⅱ－①(小児)※ 生活機能支援論Ⅱ－②(小児) 生活機能支援論実習Ⅱ(小児) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	松井　幸子 (70) ＜令和5年4月＞ 博士(保健学)	ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 生活機能支援論Ⅲ－①(急性)※ 生活機能支援論Ⅲ－③(ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ)※ 生活機能支援論Ⅲ－④(急性)※ 生活機能支援論実習Ⅲ－①(急性) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	教授	松尾　博哉 (67) ＜令和4年4月＞ 医学博士	人体の構造と機能(解剖学) 人体の構造と機能Ⅰ 人体の構造と機能Ⅱ 人体の構造と機能Ⅲ 疾病治療論Ⅳ 生涯発達看護論Ⅰ(母性)※ 国際看護Ⅰ※ 災害看護Ⅰ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	教授	楢木野　裕美 (66) ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)	看護倫理※ 家族看護論 生涯発達看護論Ⅱ(小児)※ 生活機能支援論Ⅱ－①(小児)※ 生活機能支援論Ⅱ－②(小児) 生活機能支援論実習Ⅱ(小児) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	松井　幸子 (71) ＜令和5年4月＞ 博士(保健学)	ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 生活機能支援論Ⅲ－①(急性)※ 生活機能支援論Ⅲ－③(ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ)※ 生活機能支援論Ⅲ－④(急性)※ 生活機能支援論実習Ⅲ－①(急性) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	教授	松尾　博哉 (68) ＜令和4年4月＞ 医学博士	人体の構造と機能(解剖学) 人体の構造と機能Ⅰ 人体の構造と機能Ⅱ 人体の構造と機能Ⅲ 疾病治療論Ⅳ 生涯発達看護論Ⅰ(母性)※ 国際看護Ⅰ※ 災害看護Ⅰ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ 医療英語
専	教授	楢木野　裕美 (67) ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)	看護倫理※ 家族看護論 生涯発達看護論Ⅱ(小児)※ 生活機能支援論Ⅱ－①(小児)※ 生活機能支援論Ⅱ－②(小児) 生活機能支援論実習Ⅱ(小児) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	松井　幸子 (72) ＜令和5年4月＞ 博士(保健学)	ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 生活機能支援論Ⅲ－①(急性)※ 生活機能支援論Ⅲ－③(ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ)※ 生活機能支援論Ⅲ－④(急性)※ 生活機能支援論実習Ⅲ－①(急性) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	教授	松尾　博哉 (69) ＜令和4年4月＞ 医学博士	人体の構造と機能(解剖学) 人体の構造と機能Ⅰ 人体の構造と機能Ⅱ 人体の構造と機能Ⅲ 疾病治療論Ⅳ 生涯発達看護論Ⅰ(母性)※ 国際看護Ⅰ※ 災害看護Ⅰ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ 医療英語
専	教授	楢木野　裕美 (68) ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)	看護倫理※ 家族看護論 生涯発達看護論Ⅱ(小児)※ 生活機能支援論Ⅱ－①(小児)※ 生活機能支援論Ⅱ－②(小児) 生活機能支援論実習Ⅱ(小児) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	上田　博之 (63) ＜令和4年4月＞ 博士(学術)	基礎ゼミ 教養ゼミ 社会調査法※ データサイエンス 異文化交流(海外語学研修) 国際理解(カンボジア研修) 環境と健康※ 保健統計学 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	教授	松浦　正子 (62) ＜令和5年4月＞ 博士(看護管理学)	地域包括ケア論実習Ⅲ－①(統合：管理) 看護マネジメント論Ⅰ※ 看護マネジメント論Ⅱ※ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ 専門職論※
専	教授	吉田　智美 (60) ＜令和4年4月＞ 博士（看護学）	看護倫理※ 看護理論※ 生活機能支援論Ⅲ－②(慢性)※ 生活機能支援論Ⅲ－⑤(慢性) 生活機能支援論実習Ⅲ－②(慢性) エンドオブライフケア論※ チーム医療論※ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ 専門職論※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	上田　博之 (64) ＜令和4年4月＞ 博士(学術)	基礎ゼミ 教養ゼミ 社会調査法※ データサイエンス 異文化交流(海外語学研修) 国際理解(カンボジア研修) 環境と健康※ 保健統計学 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	教授	松浦　正子 (63) ＜令和5年4月＞ 博士(看護管理学)	地域包括ケア論実習Ⅲ－①(統合：管理) 看護マネジメント論Ⅰ※ 看護マネジメント論Ⅱ※ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ 専門職論※
専	教授	吉田　智美 (61) ＜令和4年4月＞ 博士（看護学）	看護倫理※ 看護理論※ 生活機能支援論Ⅲ－②(慢性)※ 生活機能支援論Ⅲ－⑤(慢性) 生活機能支援論実習Ⅲ－②(慢性) エンドオブライフケア論※ チーム医療論※ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ 専門職論※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	上田　博之 (65) ＜令和4年4月＞ 博士(学術)	基礎ゼミ 教養ゼミ 社会調査法※ データサイエンス 異文化交流(海外語学研修) 国際理解(カンボジア研修) 環境と健康※ 保健統計学 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	教授	松浦　正子 (64) ＜令和5年4月＞ 博士(看護管理学)	地域包括ケア論実習Ⅲ－①(統合：管理) 看護マネジメント論Ⅰ※ 看護マネジメント論Ⅱ※ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ 専門職論※
専	教授	吉田　智美 (62) ＜令和4年4月＞ 博士（看護学）	看護倫理※ 看護理論※ 生活機能支援論Ⅲ－②(慢性)※ 生活機能支援論Ⅲ－⑤(慢性) 生活機能支援論実習Ⅲ－②(慢性) エンドオブライフケア論※ チーム医療論※ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ 専門職論※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	上田　博之 (65) ＜令和4年4月＞ 博士(学術)	基礎ゼミ 教養ゼミ 社会調査法※ データサイエンス 異文化交流(海外語学研修) 国際理解(カンボジア研修) 環境と健康※ 保健統計学 **看護研究Ⅰ** **看護研究Ⅱ** 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	教授	松浦　正子 (65) ＜令和5年4月＞ 博士(看護管理学)	地域包括ケア論実習Ⅲ－①(統合：管理) 看護マネジメント論Ⅰ※ 看護マネジメント論Ⅱ※ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ 専門職論※
専	教授	吉田　智美 (63) ＜令和4年4月＞ 博士（看護学）	看護倫理※ 看護理論※ 生活機能支援論Ⅲ－②(慢性)※ 生活機能支援論Ⅲ－⑤(慢性) 生活機能支援論実習Ⅲ－②(慢性) エンドオブライフケア論※ チーム医療論※ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ 専門職論※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	上田　博之 (66) ＜令和4年4月＞ 博士(学術)	基礎ゼミ 教養ゼミ 社会調査法※ データサイエンス 異文化交流(海外語学研修) 国際理解(カンボジア研修) 環境と健康※ 保健統計学 **看護研究Ⅰ** **看護研究Ⅱ** 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	教授	松浦　正子 (66) ＜令和5年4月＞ 博士(看護管理学)	地域包括ケア論実習Ⅲ－①(統合：管理) 看護マネジメント論Ⅰ※ 看護マネジメント論Ⅱ※ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ 専門職論※
専	教授	吉田　智美 (64) ＜令和4年4月＞ 博士（看護学）	看護倫理※ 看護理論※ 生活機能支援論Ⅲ－②(慢性)※ 生活機能支援論Ⅲ－⑤(慢性) 生活機能支援論実習Ⅲ－②(慢性) エンドオブライフケア論※ チーム医療論※ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ 専門職論※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	竹中　泉 (59) ＜令和4年4月＞ 修士(学術)	看護概論 基礎技術Ⅰ※ 基礎技術Ⅱ※ 看護教育学Ⅰ※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 国際看護Ⅰ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ 看護教育学Ⅱ
専	教授	長尾　匡子 (57) 博士(看護学) ＜令和4年4月＞	教養ゼミ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 臨床判断論※ 生涯発達看護論Ⅳ(老年) 生活機能支援論Ⅳ－①(老年)※ 生活機能支援論Ⅳ－②(老年) 生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年) 生活機能支援論実習Ⅳ－②(老年) 地域包括ケア論実習Ⅰ(老年) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	教授	西田　頼子 (48) 博士(医科学) ＜令和4年4月＞	生活機能論 ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅠ※ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 看護理論※ 臨床判断論※ 生涯発達看護論Ⅲ(成人) 生活機能支援論Ⅲ－②(慢性)※ 生活機能支援論Ⅲ－⑤(慢性) 生活機能支援論実習Ⅲ－②(慢性) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	竹中　泉 (60) ＜令和4年4月＞ 修士(学術)	看護概論 基礎技術Ⅰ※ 基礎技術Ⅱ※ 看護教育学Ⅰ※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 国際看護Ⅰ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ 看護教育学Ⅱ
専	教授	長尾　匡子 (58) 博士(看護学) ＜令和4年4月＞	教養ゼミ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 臨床判断論※ 生涯発達看護論Ⅳ(老年) 生活機能支援論Ⅳ－①(老年)※ 生活機能支援論Ⅳ－②(老年) 生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年) 生活機能支援論実習Ⅳ－②(老年) 地域包括ケア論実習Ⅰ(老年) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	教授	西田　頼子 (49) 博士(医科学) ＜令和4年4月＞	生活機能論 ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅠ※ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 看護理論※ 臨床判断論※ 生涯発達看護論Ⅲ(成人) 生活機能支援論Ⅲ－②(慢性)※ 生活機能支援論Ⅲ－⑤(慢性) 生活機能支援論実習Ⅲ－②(慢性) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	竹中　泉 (61) ＜令和4年4月＞ 修士(学術)	看護概論 基礎技術Ⅰ※ 基礎技術Ⅱ※ 看護教育学Ⅰ※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 国際看護Ⅰ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ 看護教育学Ⅱ
専	教授	長尾　匡子 (59) 博士(看護学) ＜令和4年4月＞	教養ゼミ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 臨床判断論※ 生涯発達看護論Ⅳ(老年) 生活機能支援論Ⅳ－①(老年)※ 生活機能支援論Ⅳ－②(老年) 生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年) 生活機能支援論実習Ⅳ－②(老年) 地域包括ケア論実習Ⅰ(老年) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	教授	西田　頼子 (50) 博士(医科学) ＜令和4年4月＞	生活機能論 ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅠ※ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 看護理論※ 臨床判断論※ 生涯発達看護論Ⅲ(成人) 生活機能支援論Ⅲ－②(慢性)※ 生活機能支援論Ⅲ－⑤(慢性) 生活機能支援論実習Ⅲ－②(慢性) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	竹中　泉 (62) ＜令和4年4月＞ 修士(学術)	看護概論 基礎技術Ⅰ※ 基礎技術Ⅱ※ 看護教育学Ⅰ※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 国際看護Ⅰ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ 看護教育学Ⅱ
専	教授	長尾　匡子 (60) 博士(看護学) ＜令和4年4月＞	教養ゼミ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 臨床判断論※ 生涯発達看護論Ⅳ(老年) 生活機能支援論Ⅳ－①(老年)※ 生活機能支援論Ⅳ－②(老年) 生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年) 生活機能支援論実習Ⅳ－②(老年) 地域包括ケア論実習Ⅰ(老年) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	教授	西田　頼子 (51) 博士(医科学) ＜令和4年4月＞	生活機能論 ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅠ※ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 看護理論※ 臨床判断論※ 生涯発達看護論Ⅲ(成人) 生活機能支援論Ⅲ－②(慢性)※ 生活機能支援論Ⅲ－⑤(慢性) 生活機能支援論実習Ⅲ－②(慢性) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	竹中　泉 (63) ＜令和4年4月＞ 修士(学術)	看護概論 基礎技術Ⅰ※ 基礎技術Ⅱ※ 看護教育学Ⅰ※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 国際看護Ⅰ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ 看護教育学Ⅱ
専	教授	長尾　匡子 (61) 博士(看護学) ＜令和4年4月＞	教養ゼミ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 臨床判断論※ 生涯発達看護論Ⅳ(老年) 生活機能支援論Ⅳ－①(老年)※ 生活機能支援論Ⅳ－②(老年) 生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年) 生活機能支援論実習Ⅳ－②(老年) 地域包括ケア論実習Ⅰ(老年) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	教授	西田　頼子 (52) 博士(医科学) ＜令和4年4月＞	生活機能論 ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅠ※ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 看護理論※ 臨床判断論※ 生涯発達看護論Ⅲ(成人) 生活機能支援論Ⅲ－②(慢性)※ 生活機能支援論Ⅲ－⑤(慢性) 生活機能支援論実習Ⅲ－②(慢性) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	西村　美八 (47) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)	基礎ゼミ 教養ゼミ 健康教育論※ 社会健康学 ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ 生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年) 地域包括ケア論Ⅲ(地域・学校)※ 地域包括ケア論Ⅳ(在宅)※ 地域包括ケア論実習Ⅲ－②(統合：地域) 看護研究Ⅰ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	准教授	竹見　八代子 (66) ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)	基礎技術Ⅰ※ 基礎技術Ⅱ※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	西村　美八 (48) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)	基礎ゼミ 教養ゼミ 健康教育論※ 社会健康学 ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ 生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年) 地域包括ケア論Ⅲ(地域・学校)※ 地域包括ケア論Ⅳ(在宅)※ 地域包括ケア論実習Ⅲ－②(統合：地域) 看護研究Ⅰ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	准教授	竹見　八代子 (67) ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)	基礎技術Ⅰ※ 基礎技術Ⅱ※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	西村　美八 (49) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)	基礎ゼミ 教養ゼミ 健康教育論※ 社会健康学 ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ 生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年) 地域包括ケア論Ⅲ(地域・学校)※ 地域包括ケア論Ⅳ(在宅)※ 地域包括ケア論実習Ⅲ－②(統合：地域) 看護研究Ⅰ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	准教授	竹見　八代子 (68) ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)	基礎技術Ⅰ※ 基礎技術Ⅱ※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	竹見　八代子 (69) ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)	基礎技術Ⅰ※ 基礎技術Ⅱ※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	石垣　恭子 (66) ＜令和7年3月＞ 医学博士	基礎ゼミ 教養ゼミ データサイエンス 情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ 健康教育論※ 社会健康学 保健統計学 地域包括ケア論Ⅲ(地域・学校)※ 地域包括ケア論実習Ⅲ－②(統合：地域) 地域包括ケア論Ⅳ（在宅） 看護研究Ⅰ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	准教授	竹見　八代子 (70) ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)	教養ゼミ 基礎技術Ⅰ※ 基礎技術Ⅱ※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	西垣　里志 (63) ＜令和5年4月＞ 博士（保健学）	ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 生活機能支援論Ⅴ－①(精神)※ 生活機能支援論Ⅴ－②(精神) 生活機能支援論実習Ⅴ(精神) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	准教授	徳珍　温子 (54) ＜令和6年4月＞ 修士(学術)	キャリア入門 セーフティプロモーション 基礎技術Ⅱ※ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 生活機能支援論Ⅲ－③(ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ)※ 学校保健 養護学概説※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ 事前及び事後指導(養護) 養護実習 教職インターンシップ 教職実践演習(養護教諭)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	西垣　里志 (64) ＜令和5年4月＞ 博士（保健学）	ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 生活機能支援論Ⅴ－①(精神)※ 生活機能支援論Ⅴ－②(精神) 生活機能支援論実習Ⅴ(精神) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	准教授	徳珍　温子 (55) ＜令和6年4月＞ 修士(学術)	キャリア入門 セーフティプロモーション 基礎技術Ⅱ※ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 生活機能支援論Ⅲ－③(ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ)※ 学校保健 養護学概説※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ 事前及び事後指導(養護) 養護実習 教職インターンシップ 教職実践演習(養護教諭)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	得居　みのり (56) ＜令和5年4月＞ 修士（看護学）	基礎ゼミ 基礎技術Ⅰ※ 基礎技術Ⅱ※ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 臨床判断論※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 生活機能支援論Ⅳ－①(老年)※ 生活機能支援論Ⅳ－②(老年) 生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年) 生活機能支援論実習Ⅳ－②(老年) 地域包括ケア論実習Ⅰ(老年)
専	准教授	徳珍　温子 (56) ＜令和6年4月＞ 修士(学術)	キャリア入門 セーフティプロモーション 基礎技術Ⅱ※ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 生活機能支援論Ⅲ－③(ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ)※ 学校保健 養護学概説※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ 事前及び事後指導(養護) 養護実習 教職インターンシップ 教職実践演習(養護教諭)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	得居　みのり (57) ＜令和5年4月＞ 博士（看護学）	基礎ゼミ 基礎技術Ⅰ※ 基礎技術Ⅱ※ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 臨床判断論※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 生活機能支援論Ⅳ－①(老年)※ 生活機能支援論Ⅳ－②(老年) 生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年) 生活機能支援論実習Ⅳ－②(老年) 地域包括ケア論実習Ⅰ(老年) 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	准教授	徳珍　温子 (57) ＜令和6年4月＞ 修士(学術)	キャリア入門 セーフティプロモーション 基礎技術Ⅱ※ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 生活機能支援論Ⅲ－③(ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ)※ 学校保健 養護学概説※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ 事前及び事後指導(養護) 養護実習 教職インターンシップ 教職実践演習(養護教諭)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	得居　みのり (58) ＜令和5年4月＞ 博士（看護学）	基礎ゼミ 基礎技術Ⅰ※ 基礎技術Ⅱ※ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 臨床判断論※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 生活機能支援論Ⅳ－①(老年)※ 生活機能支援論Ⅳ－②(老年) 生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年) 生活機能支援論実習Ⅳ－②(老年) 地域包括ケア論実習Ⅰ(老年) 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	准教授	徳珍　温子 (58) ＜令和6年4月＞ 修士(学術)	キャリア入門 セーフティプロモーション 基礎技術Ⅱ※ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 生活機能支援論Ⅲ－③(ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ)※ 学校保健 養護学概説※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ 事前及び事後指導(養護) 養護実習 教職インターンシップ 教職実践演習(養護教諭)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	德珍　温子 (54) ＜令和4年4月＞ 修士(学術)	キャリア入門 セーフティプロモーション 基礎技術Ⅱ※ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ
専	准教授	阪上　由美 (51) ＜令和4年4月＞ 修士(人間科学)	サービスラーニング 教養ゼミ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅠ※ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ 生活機能支援論Ⅱ－①(小児)※ 生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年) 地域包括ケア論Ⅰ(在宅)※ 地域包括ケア論Ⅱ(在宅・地域)※ 地域包括ケア論Ⅳ(在宅)※ 地域包括ケア論実習Ⅱ(在宅) ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	德珍　温子 (55) ＜令和4年4月＞ 修士(学術)	キャリア入門 セーフティプロモーション 基礎技術Ⅱ※ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ
専	准教授	阪上　由美 (52) ＜令和4年4月＞ 修士(人間科学)	サービスラーニング 教養ゼミ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅠ※ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ 生活機能支援論Ⅱ－①(小児)※ 生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年) 地域包括ケア論Ⅰ(在宅)※ 地域包括ケア論Ⅱ(在宅・地域)※ 地域包括ケア論Ⅳ(在宅)※ 地域包括ケア論実習Ⅱ(在宅) ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	德珍　温子 (56) ＜令和4年4月＞ 修士(学術)	キャリア入門 セーフティプロモーション 基礎技術Ⅱ※ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ
専	准教授	阪上　由美 (53) ＜令和4年4月＞ 修士(人間科学)	サービスラーニング 教養ゼミ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅠ※ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ 生活機能支援論Ⅱ－①(小児)※ 生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年) 地域包括ケア論Ⅰ(在宅)※ 地域包括ケア論Ⅱ(在宅・地域)※ 地域包括ケア論Ⅳ(在宅)※ 地域包括ケア論実習Ⅱ(在宅) ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	阪上　由美 (54) ＜令和4年4月＞ 修士(人間科学)	サービスラーニング 教養ゼミ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅠ※ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ 生活機能支援論Ⅱ－①(小児)※ 生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年) 地域包括ケア論Ⅰ(在宅)※ 地域包括ケア論Ⅱ(在宅・地域)※ 地域包括ケア論Ⅳ(在宅)※ 地域包括ケア論実習Ⅱ(在宅) ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	阪上　由美 (55) ＜令和4年4月＞ 修士(人間科学)	サービスラーニング 教養ゼミ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅠ※ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ 生活機能支援論Ⅱ－①(小児)※ 生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年) 地域包括ケア論Ⅰ(在宅)※ 地域包括ケア論Ⅱ(在宅・地域)※ 地域包括ケア論Ⅳ(在宅)※ 地域包括ケア論実習Ⅱ(在宅) ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	准教授	小代　仁美 (64) ＜令和7年4月＞ 博士(看護学)	ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ ヒューマンケア実習Ⅱ 生涯発達看護論Ⅱ(小児)※ 生活機能支援論Ⅱ－①(小児)※ 生活機能支援論Ⅱ－②(小児) 生活機能支援論実習Ⅱ(小児) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	中野　幸子 (61) ＜令和6年4月＞ 修士(学術)	ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 生涯発達看護論Ⅱ(小児)※ 生活機能支援論Ⅱ－①(小児)※ 生活機能支援論Ⅱ－②(小児) 生活機能支援論実習Ⅱ(小児) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
兼任	講師	中野　幸子 (61) ＜令和5年4月＞ 修士(学術)	ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 生涯発達看護論Ⅱ(小児)※ 生活機能支援論Ⅱ－①(小児)※
専	講師	西山　史江 (60) ＜令和4年4月＞ 博士(看護学)	基礎ゼミ 教養ゼミ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年) 地域包括ケア論実習Ⅲ－①(統合：管理) チーム医療論※ 看護マネジメント論Ⅰ※ 看護マネジメント論Ⅱ※ 看護研究Ⅰ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	講師	郷司　律子 (58) ＜令和4年4月＞ 博士(人間科学)	サービスラーニング ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 生涯発達看護論Ⅰ(母性)※ 生活機能支援論Ⅰ－①(母性)※ 生活機能支援論Ⅰ－②(母性) 生活機能支援論実習Ⅰ(母性) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	中野　幸子 (62) ＜令和6年4月＞ 修士(学術)	ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 生涯発達看護論Ⅱ(小児)※ 生活機能支援論Ⅱ－①(小児)※ 生活機能支援論Ⅱ－②(小児) 生活機能支援論実習Ⅱ(小児) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
兼任	講師	中野　幸子 (62) ＜令和5年4月＞ 修士(学術)	ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 生涯発達看護論Ⅱ(小児)※ 生活機能支援論Ⅱ－①(小児)※
専	講師	西山　史江 (61) ＜令和4年4月＞ 博士(看護学)	基礎ゼミ 教養ゼミ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年) 地域包括ケア論実習Ⅲ－①(統合：管理) チーム医療論※ 看護マネジメント論Ⅰ※ 看護マネジメント論Ⅱ※ 看護研究Ⅰ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	講師	郷司　律子 (59) ＜令和4年4月＞ 博士(人間科学)	サービスラーニング ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 生涯発達看護論Ⅰ(母性)※ 生活機能支援論Ⅰ－①(母性)※ 生活機能支援論Ⅰ－②(母性) 生活機能支援論実習Ⅰ(母性) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	中野　幸子 (63) ＜令和6年4月＞ 修士(学術)	ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 生涯発達看護論Ⅱ(小児)※ 生活機能支援論Ⅱ－①(小児)※ 生活機能支援論Ⅱ－②(小児) 生活機能支援論実習Ⅱ(小児) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
兼任	講師	中野　幸子 (63) ＜令和5年4月＞ 修士(学術)	ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 生涯発達看護論Ⅱ(小児)※ 生活機能支援論Ⅱ－①(小児)※
専	講師	西山　史江 (62) ＜令和4年4月＞ 博士(看護学)	基礎ゼミ 教養ゼミ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年) 地域包括ケア論実習Ⅲ－①(統合：管理) チーム医療論※ 看護マネジメント論Ⅰ※ 看護マネジメント論Ⅱ※ 看護研究Ⅰ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	講師	郷司　律子 (60) ＜令和4年4月＞ 博士(人間科学)	サービスラーニング ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 生涯発達看護論Ⅰ(母性)※ 生活機能支援論Ⅰ－①(母性)※ 生活機能支援論Ⅰ－②(母性) 生活機能支援論実習Ⅰ(母性) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	中野　幸子 (64) ＜令和6年4月＞ 修士(学術)	ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 生涯発達看護論Ⅱ(小児)※ 生活機能支援論Ⅱ－①(小児)※ 生活機能支援論Ⅱ－②(小児) 生活機能支援論実習Ⅱ(小児) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	講師	西山　史江 (63) ＜令和4年4月＞ 博士(看護学)	基礎ゼミ 教養ゼミ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年) 地域包括ケア論実習Ⅲ－①(統合：管理) チーム医療論※ 看護マネジメント論Ⅰ※ 看護マネジメント論Ⅱ※ 看護研究Ⅰ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	講師	郷司　律子 (61) ＜令和4年4月＞ 博士(人間科学)	サービスラーニング ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 生涯発達看護論Ⅰ(母性)※ 生活機能支援論Ⅰ－①(母性)※ 生活機能支援論Ⅰ－②(母性) 生活機能支援論実習Ⅰ(母性) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	西山　史江 (64) ＜令和4年4月＞ 博士(看護学)	基礎ゼミ 教養ゼミ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年) 地域包括ケア論実習Ⅲ－①(統合：管理) チーム医療論※ 看護マネジメント論Ⅰ※ 看護マネジメント論Ⅱ※ 看護研究Ⅰ※ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	講師	郷司　律子 (62) ＜令和4年4月＞ 博士(人間科学)	サービスラーニング ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 生涯発達看護論Ⅰ(母性)※ 生活機能支援論Ⅰ－①(母性)※ 生活機能支援論Ⅰ－②(母性) 生活機能支援論実習Ⅰ(母性) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	有田　弥棋子 (51) ＜令和4年4月＞ 修士(医療安全管理学)	基礎ゼミ 基礎技術Ⅰ※ 基礎技術Ⅱ※ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 臨床判断論※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 生活機能支援論Ⅳ－①(老年)※ 生活機能支援論Ⅳ－②(老年) 生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年) 生活機能支援論実習Ⅳ－②(老年) 地域包括ケア論実習Ⅰ(老年)
専	講師	藤井　知美 (50) ＜令和5年4月＞ 修士(看護学)	異文化交流(海外語学研修) 国際理解(カンボジア研修) ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年) 国際看護Ⅰ※ 国際看護Ⅱ 災害看護Ⅰ※ 災害看護Ⅱ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	講師	美王　真紀 (47) ＜令和4年4月＞ 保健学修士	ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ・ｱｾｽﾒﾝﾄ※ 生活機能支援論Ⅴ－②(精神) 生活機能支援論実習Ⅴ(精神) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	藤井　知美 (51) ＜令和5年4月＞ 修士(看護学)	異文化交流(海外語学研修) 国際理解(カンボジア研修) ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年) 国際看護Ⅰ※ 国際看護Ⅱ 災害看護Ⅰ※ 災害看護Ⅱ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	講師	美王　真紀 (48) ＜令和4年4月＞ 保健学修士	ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ・ｱｾｽﾒﾝﾄ※ 生活機能支援論Ⅴ－②(精神) 生活機能支援論実習Ⅴ(精神) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	藤井　知美 (52) ＜令和5年4月＞ 修士(看護学)	異文化交流(海外語学研修) 国際理解(カンボジア研修) ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年) 国際看護Ⅰ※ 国際看護Ⅱ 災害看護Ⅰ※ 災害看護Ⅱ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	講師	美王　真紀 (49) ＜令和4年4月＞ 保健学修士	ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ・ｱｾｽﾒﾝﾄ※ 生活機能支援論Ⅴ－②(精神) 生活機能支援論実習Ⅴ(精神) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	藤井　知美 (53) ＜令和5年4月＞ 修士(看護学)	異文化交流(海外語学研修) 国際理解(カンボジア研修) ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年) 国際看護Ⅰ※ 国際看護Ⅱ 災害看護Ⅰ※ 災害看護Ⅱ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	講師	美王　真紀 (50) ＜令和4年4月＞ 保健学修士	ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ・ｱｾｽﾒﾝﾄ※ **メンタルヘルス・プロモーション** 生活機能支援論Ⅴ－②(精神) 生活機能支援論実習Ⅴ(精神) **教養ゼミ** 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	藤井　知美 (54) ＜令和5年4月＞ 修士(看護学)	**教養ゼミ** 異文化交流(海外語学研修) 国際理解(カンボジア研修) ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年) 国際看護Ⅰ※ 国際看護Ⅱ 災害看護Ⅰ※ 災害看護Ⅱ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	講師	美王　真紀 (51) ＜令和4年4月＞ 保健学修士	ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ・ｱｾｽﾒﾝﾄ※ **メンタルヘルス・プロモーション** 生活機能支援論Ⅴ－②(精神) 生活機能支援論実習Ⅴ(精神) **教養ゼミ** 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	岡﨑　裕子 (47) 修士(看護学) ＜令和4年4月＞	サービスラーニング ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 生活機能支援論Ⅱ－①(小児)※ 生活機能支援論Ⅱ－②(小児) 生活機能支援論実習Ⅱ(小児) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	講師	秋山　正子 (46) ＜令和4年4月＞ 修士(保健学)	基礎技術Ⅰ※ 基礎技術Ⅱ※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年) エンドオブライフケア論※ 地域包括ケア論Ⅱ(在宅・地域)※ 地域包括ケア論Ⅳ(在宅)※ 地域包括ケア論実習Ⅱ(在宅) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	講師	髙橋　篤信 (39) ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)	サービスラーニング 基礎ゼミ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ・ｱｾｽﾒﾝﾄ※ 生活機能支援論Ⅴ－①(精神)※ 生活機能支援論Ⅴ－②(精神) 生活機能支援論実習Ⅴ(精神)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	岡﨑　裕子 (48) 修士(看護学) ＜令和4年4月＞	サービスラーニング ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 生活機能支援論Ⅱ－①(小児)※ 生活機能支援論Ⅱ－②(小児) 生活機能支援論実習Ⅱ(小児) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	講師	秋山　正子 (47) ＜令和4年4月＞ 修士(保健学)	基礎技術Ⅰ※ 基礎技術Ⅱ※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年) エンドオブライフケア論※ 地域包括ケア論Ⅱ(在宅・地域)※ 地域包括ケア論Ⅳ(在宅)※ 地域包括ケア論実習Ⅱ(在宅) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	講師	髙橋　篤信 (40) ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)	サービスラーニング 基礎ゼミ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ・ｱｾｽﾒﾝﾄ※ 生活機能支援論Ⅴ－①(精神)※ 生活機能支援論Ⅴ－②(精神) 生活機能支援論実習Ⅴ(精神)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	岡﨑　裕子 (49) 修士(看護学) ＜令和4年4月＞	サービスラーニング ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 生活機能支援論Ⅱ－①(小児)※ 生活機能支援論Ⅱ－②(小児) 生活機能支援論実習Ⅱ(小児) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	講師	秋山　正子 (48) ＜令和4年4月＞ 修士(保健学)	基礎技術Ⅰ※ 基礎技術Ⅱ※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年) エンドオブライフケア論※ 地域包括ケア論Ⅱ(在宅・地域)※ 地域包括ケア論Ⅳ(在宅)※ 地域包括ケア論実習Ⅱ(在宅) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	講師	髙橋　篤信 (41) ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)	サービスラーニング 基礎ゼミ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ・ｱｾｽﾒﾝﾄ※ 生活機能支援論Ⅴ－①(精神)※ 生活機能支援論Ⅴ－②(精神) 生活機能支援論実習Ⅴ(精神)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	岡﨑　裕子 (50) 修士(看護学) ＜令和4年4月＞	サービスラーニング ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 生活機能支援論Ⅱ－①(小児)※ 生活機能支援論Ⅱ－②(小児) 生活機能支援論実習Ⅱ(小児) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	講師	秋山　正子 (49) ＜令和4年4月＞ 修士(保健学)	基礎技術Ⅰ※ 基礎技術Ⅱ※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年) エンドオブライフケア論※ 地域包括ケア論Ⅱ(在宅・地域)※ 地域包括ケア論Ⅳ(在宅)※ 地域包括ケア論実習Ⅱ(在宅) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	講師	髙橋　篤信 (42) ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)	サービスラーニング 基礎ゼミ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ・ｱｾｽﾒﾝﾄ※ 生活機能支援論Ⅴ－①(精神)※ 生活機能支援論Ⅴ－②(精神) 生活機能支援論実習Ⅴ(精神)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	岡﨑　裕子 (51) 修士(看護学) ＜令和4年4月＞	サービスラーニング ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 生活機能支援論Ⅱ－①(小児)※ 生活機能支援論Ⅱ－②(小児) 生涯発達看護論Ⅲ（成人） 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	講師	秋山　正子 (50) ＜令和4年4月＞ 修士(保健学)	基礎技術Ⅰ※ 基礎技術Ⅱ※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年) エンドオブライフケア論※ 地域包括ケア論Ⅱ(在宅・地域)※ 地域包括ケア論Ⅳ(在宅)※ 地域包括ケア論実習Ⅱ(在宅) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	講師	髙橋　篤信 (43) ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)	サービスラーニング 基礎ゼミ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ・ｱｾｽﾒﾝﾄ※ 生活機能支援論Ⅴ－①(精神)※ 生活機能支援論Ⅴ－②(精神) 生活機能支援論実習Ⅴ(精神)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	南　裕美 (53) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)	基礎技術Ⅰ※ 基礎技術Ⅱ※ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅠ※ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 臨床判断論※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年)
専	助教	井内　伸栄 (45) ＜令和4年4月＞ 修士(学術)	サービスラーニング 社会調査法※ 情報倫理※ 情報リテラシーⅠ※ 情報リテラシーⅡ※ 教育の方法と技術※
専	助教	中村　千賀 (43) ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）	地域包括ケア論Ⅱ(在宅・地域)※ 地域包括ケア論Ⅳ(在宅)※ 地域包括ケア論実習Ⅱ(在宅)
専	助教	桑原　唯 (34) ＜令和5年4月＞ 修士(看護学)	ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 生活機能支援論Ⅲ－①(急性)※ 生活機能支援論Ⅲ－②(慢性)※ 生活機能支援論Ⅲ－③(ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ)※ 生活機能支援論Ⅲ－④(急性)※ 生活機能支援論Ⅲ－⑤(慢性) 生活機能支援論実習Ⅲ－①(急性) 生活機能支援論実習Ⅲ－②(慢性)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	南　裕美 (54) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)	基礎技術Ⅰ※ 基礎技術Ⅱ※ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅠ※ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 臨床判断論※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年)
専	助教	井内　伸栄 (46) ＜令和4年4月＞ 修士(学術)	サービスラーニング 社会調査法※ 情報倫理※ 情報リテラシーⅠ※ 情報リテラシーⅡ※ 教育の方法と技術※
専	助教	中村　千賀 (44) **＜令和5年4月＞** 修士（教育学）	地域包括ケア論Ⅱ(在宅・地域)※ 地域包括ケア論Ⅳ(在宅)※ 地域包括ケア論実習Ⅱ(在宅)
専	助教	桑原　唯 (35) ＜令和5年4月＞ 修士(看護学)	ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 生活機能支援論Ⅲ－①(急性)※ 生活機能支援論Ⅲ－②(慢性)※ 生活機能支援論Ⅲ－③(ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ)※ 生活機能支援論Ⅲ－④(急性)※ 生活機能支援論Ⅲ－⑤(慢性) 生活機能支援論実習Ⅲ－①(急性) 生活機能支援論実習Ⅲ－②(慢性)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	南　裕美 (55) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)	基礎技術Ⅰ※ 基礎技術Ⅱ※ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅠ※ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 臨床判断論※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年)
専	助教	井内　伸栄 (47) ＜令和4年4月＞ 修士(学術)	サービスラーニング 社会調査法※ 情報倫理※ 情報リテラシーⅠ※ 情報リテラシーⅡ※ 教育の方法と技術※
専	助教	中村　千賀 (45) **＜令和5年4月＞** 修士（教育学）	地域包括ケア論Ⅱ(在宅・地域)※ 地域包括ケア論Ⅳ(在宅)※ 地域包括ケア論実習Ⅱ(在宅)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	南　裕美 (56) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)	基礎技術Ⅰ※ 基礎技術Ⅱ※ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅠ※ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 臨床判断論※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年)
専	助教	井内　伸栄 (48) ＜令和4年4月＞ 修士(学術)	サービスラーニング 社会調査法※ 情報倫理※ 情報リテラシーⅠ※ 情報リテラシーⅡ※ 教育の方法と技術※
専	助教	中村　千賀 (46) **＜令和5年4月＞** 修士（教育学）	**サービスラーニング** **健康教育論** 地域包括ケア論Ⅱ(在宅・地域)※ 地域包括ケア論Ⅳ(在宅)※ 地域包括ケア論実習Ⅱ(在宅)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	南　裕美 (57) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)	**基礎ゼミ** 基礎技術Ⅰ※ 基礎技術Ⅱ※ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅠ※ ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 臨床判断論※ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ 生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年)
専	助教	井内　伸栄 (49) ＜令和4年4月＞ 修士(学術)	サービスラーニング 社会調査法※ 情報倫理※ 情報リテラシーⅠ※ 情報リテラシーⅡ※ 教育の方法と技術※
専	助教	中村　千賀 (47) **＜令和5年4月＞** 修士（教育学）	**サービスラーニング** **健康教育論** 地域包括ケア論Ⅱ(在宅・地域)※ 地域包括ケア論Ⅳ(在宅)※ 地域包括ケア論実習Ⅱ(在宅)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	船寄　俊雄 (64) ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)	教養ゼミ 教育原理
兼担	講師	智原　正行 (74) ＜令和6年4月＞ 教育学士	特別支援教育
兼担	講師	梅野　圭史 (66) ＜令和4年4月＞ 博士(体育科学)	体育講義※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	船寄　俊雄 (65) ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)	教養ゼミ 教育原理
兼担	講師	智原　正行 (75) ＜令和6年4月＞ 教育学士	特別支援教育
兼担	講師	梅野　圭史 (67) ＜令和4年4月＞ 博士(体育科学)	体育講義※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	松村　麻衣子 (44) ＜令和5年4月＞ 修士（看護学）	ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 生活機能支援論Ⅴ－①(精神)※ 生活機能支援論Ⅴ－②(精神) 生活機能支援論実習Ⅴ(精神) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
兼担	講師	船寄　俊雄 (66) ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)	教養ゼミ 教育原理
兼担	講師	梅野　圭史 (68) ＜令和4年4月＞ 博士(体育科学)	体育講義※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	松村　麻衣子 (45) ＜令和5年4月＞ 修士（看護学）	ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 生活機能支援論Ⅴ－①(精神)※ 生活機能支援論Ⅴ－②(精神) 生活機能支援論実習Ⅴ(精神) 教養ゼミ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	助教	櫻井　優祐 (34) ＜令和6年4月＞ 修士（保健学）	ヒューマンケア実習Ⅱ 生活機能支援論Ⅲ－①(急性)※ 生活機能支援論Ⅲ－③(ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ)※ 生活機能支援論Ⅲ－④(急性)※ 生活機能支援論実習Ⅲ－①(急性)
兼担	講師	船寄　俊雄 (67) ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)	教養ゼミ 教育原理
兼担	講師	渡部　昭男 (69) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）	特別支援教育
兼担	講師	梅野　圭史 (69) ＜令和4年4月＞ 博士(体育科学)	体育講義※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	松村　麻衣子 (45) ＜令和5年4月＞ 修士（看護学）	ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※ 生活機能支援論Ⅴ－①(精神)※ 生活機能支援論Ⅴ－②(精神) 生活機能支援論実習Ⅴ(精神) 教養ゼミ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護研究Ⅳ
専	助教	櫻井　優祐 (34) ＜令和6年4月＞ 修士（保健学）	基礎ゼミ ヒューマンケア実習Ⅱ 生活機能支援論Ⅲ－①(急性)※ 生活機能支援論Ⅲ－③(ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ)※ 生活機能支援論Ⅲ－④(急性)※ 生活機能支援論実習Ⅲ－①(急性)
兼担	講師	船寄　俊雄 (68) ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)	教養ゼミ 教育原理
兼担	講師	渡部　昭男 (69) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）	特別支援教育
兼担	講師	梅野　圭史 (70) ＜令和4年4月＞ 博士(体育科学)	体育講義※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	髙井　明德 (65) ＜令和5年4月＞ 理学博士	ライフサイエンス 生活と化学 教養ゼミ 生化学 微生物学・免疫学 生命科学 環境と健康※
兼任	講師	髙井　明德 (65) ＜令和4年4月＞ 理学博士	ライフサイエンス 生活と化学 教養ゼミ 生化学 微生物学・免疫学 生命科学
兼担	講師	齊藤　誠一 (64) ＜令和4年4月＞ 教育学修士(心理学)	心理学 基礎ゼミ 心のしくみと働き 発達心理学 教育心理学 教育相談
兼担	講師	足高　壱夫 (61) ＜令和4年4月＞ 社会学修士	社会学 サービスラーニング 文章表現※ 基礎ゼミ 教養ゼミ 社会調査法※
兼担	講師	市川　隆司 (60) ＜令和4年4月＞ 文学士	教養ゼミ 情報倫理※ 情報リテラシーⅠ※ 情報リテラシーⅡ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	髙井　明德 (66) ＜令和5年4月＞ 理学博士	ライフサイエンス 生活と化学 教養ゼミ 生化学 微生物学・免疫学 生命科学 環境と健康※
兼任	講師	髙井　明德 (66) ＜令和4年4月＞ 理学博士	ライフサイエンス 生活と化学 教養ゼミ 生化学 微生物学・免疫学 生命科学
兼担	講師	齊藤　誠一 (65) ＜令和4年4月＞ 教育学修士(心理学)	心理学 基礎ゼミ 心のしくみと働き 発達心理学 教育心理学 教育相談
兼担	講師	足高　壱夫 (62) ＜令和4年4月＞ 社会学修士	社会学 サービスラーニング 文章表現※ 基礎ゼミ 教養ゼミ 社会調査法※
兼担	講師	市川　隆司 (61) ＜令和4年4月＞ 文学士	教養ゼミ 情報倫理※ 情報リテラシーⅠ※ 情報リテラシーⅡ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	髙井　明德 (67) ＜令和5年4月＞ 理学博士	ライフサイエンス 生活と化学 教養ゼミ 生化学 微生物学・免疫学 生命科学 環境と健康※
兼担	講師	齊藤　誠一 (66) ＜令和4年4月＞ 教育学修士(心理学)	心理学 基礎ゼミ 心のしくみと働き 発達心理学 教育心理学 教育相談
兼担	講師	足高　壱夫 (63) ＜令和4年4月＞ 社会学修士	社会学 サービスラーニング 文章表現※ 基礎ゼミ 教養ゼミ 社会調査法※
兼担	講師	市川　隆司 (62) ＜令和4年4月＞ 文学士	教養ゼミ 情報倫理※ 情報リテラシーⅠ※ 情報リテラシーⅡ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	髙井　明德 (68) ＜令和5年4月＞ 理学博士	ライフサイエンス 生活と化学 教養ゼミ 生化学 微生物学・免疫学 生命科学 環境と健康※
兼担	講師	齊藤　誠一 (67) ＜令和4年4月＞ 教育学修士(心理学)	心理学 基礎ゼミ 心のしくみと働き 発達心理学 教育心理学 教育相談
兼担	講師	足高　壱夫 (64) ＜令和4年4月＞ 社会学修士	社会学 サービスラーニング 文章表現※ 基礎ゼミ 教養ゼミ 社会調査法※
兼担	講師	市川　隆司 (63) ＜令和4年4月＞ 文学士	教養ゼミ 情報倫理※ 情報リテラシーⅠ※ 情報リテラシーⅡ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	髙井　明德 (69) ＜令和5年4月＞ 理学博士	ライフサイエンス 生活と化学 教養ゼミ 生化学 微生物学・免疫学 生命科学 環境と健康※
兼担	講師	齊藤　誠一 (68) ＜令和4年4月＞ 教育学修士(心理学)	心理学 基礎ゼミ 心のしくみと働き 発達心理学 教育心理学 教育相談
兼担	講師	足高　壱夫 (65) ＜令和4年4月＞ 社会学修士	社会学 サービスラーニング 文章表現※ 基礎ゼミ 教養ゼミ 社会調査法※
兼担	講師	市川　隆司 (64) ＜令和4年4月＞ 文学士	教養ゼミ 情報倫理※ 情報リテラシーⅠ※ 情報リテラシーⅡ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	BUNYAN, Alan Anthony (59) ＜令和4年4月＞ master of Arts in modern and Medieval Languages (修士)(英国)	Speaking & Listening 異文化交流(海外語学研修) 国際理解(カンボジア研修)
兼担	講師	佐久　正秀 (55) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)	Writing Reading Ⅰ Reading Ⅱ Process Writing 時事英語 異文化交流(海外語学研修) 国際理解(カンボジア研修)
兼担	講師	金井　秋彦 (55) ＜令和4年4月＞ 教育学修士	人と音楽 基礎ゼミ
兼担	講師	廣森　直子 (46) ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)	ジェンダー論 教養ゼミ 家族社会学
兼担	講師	芝（中山）誠貴 (51) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)	サービスラーニング キャリア入門 基礎ゼミ
兼担	講師	荒木　雅之 (35) ＜令和4年4月＞ 修士(ｽﾎﾟｰﾂ健康科学)	サービスラーニング 体育講義※ スポーツと健康

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	BUNYAN, Alan Anthony (60) ＜令和4年4月＞ master of Arts in modern and Medieval Languages (修士)(英国)	Speaking & Listening 異文化交流(海外語学研修) 国際理解(カンボジア研修)
兼担	講師	佐久　正秀 (56) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)	Writing Reading Ⅰ Reading Ⅱ Process Writing 時事英語 異文化交流(海外語学研修) 国際理解(カンボジア研修)
兼担	講師	金井　秋彦 (56) ＜令和4年4月＞ 教育学修士	人と音楽 基礎ゼミ
兼担	講師	廣森　直子 (47) ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)	ジェンダー論 教養ゼミ 家族社会学
兼担	講師	芝（中山）誠貴 (52) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)	サービスラーニング キャリア入門 基礎ゼミ
兼担	講師	荒木　雅之 (36) ＜令和4年4月＞ 修士(ｽﾎﾟｰﾂ健康科学)	サービスラーニング 体育講義※ スポーツと健康

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	BUNYAN, Alan Anthony (61) ＜令和4年4月＞ master of Arts in modern and Medieval Languages (修士)(英国)	Speaking & Listening 異文化交流(海外語学研修) 国際理解(カンボジア研修)
兼担	講師	佐久　正秀 (57) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)	Writing Reading Ⅰ Reading Ⅱ Process Writing 時事英語 異文化交流(海外語学研修) 国際理解(カンボジア研修)
兼担	講師	金井　秋彦 (57) ＜令和4年4月＞ 教育学修士	人と音楽 基礎ゼミ
兼担	講師	廣森　直子 (48) ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)	ジェンダー論 教養ゼミ 家族社会学
兼担	講師	芝（中山）誠貴 (53) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)	サービスラーニング キャリア入門 基礎ゼミ
兼担	講師	荒木　雅之 (37) ＜令和4年4月＞ 修士(ｽﾎﾟｰﾂ健康科学)	サービスラーニング 体育講義※ スポーツと健康

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	BUNYAN, Alan Anthony (62) ＜令和4年4月＞ master of Arts in modern and Medieval Languages (修士)(英国)	Speaking & Listening 異文化交流(海外語学研修) 国際理解(カンボジア研修)
兼担	講師	佐久　正秀 (58) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)	Writing Reading Ⅰ Reading Ⅱ Process Writing 時事英語 異文化交流(海外語学研修) 国際理解(カンボジア研修)
兼担	講師	金井　秋彦 (58) ＜令和4年4月＞ 教育学修士	人と音楽 基礎ゼミ
兼担	講師	廣森　直子 (49) ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)	ジェンダー論 教養ゼミ 家族社会学
兼担	講師	芝（中山）誠貴 (54) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)	サービスラーニング キャリア入門 基礎ゼミ
兼担	講師	荒木　雅之 (38) ＜令和4年4月＞ 修士(ｽﾎﾟｰﾂ健康科学)	サービスラーニング 体育講義※ スポーツと健康

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	BUNYAN, Alan Anthony (63) ＜令和4年4月＞ master of Arts in modern and Medieval Languages (修士)(英国)	Speaking & Listening 異文化交流(海外語学研修) 国際理解(カンボジア研修)
兼担	講師	佐久　正秀 (59) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)	Writing Reading Ⅰ Reading Ⅱ Process Writing 時事英語 異文化交流(海外語学研修) 国際理解(カンボジア研修)
兼担	講師	金井　秋彦 (59) ＜令和4年4月＞ 教育学修士	人と音楽 基礎ゼミ
兼担	講師	廣森　直子 (50) ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)	ジェンダー論 教養ゼミ 家族社会学
兼担	講師	芝（中山）誠貴 (55) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)	サービスラーニング キャリア入門 基礎ゼミ
兼担	講師	荒木　雅之 (39) ＜令和4年4月＞ 修士(ｽﾎﾟｰﾂ健康科学)	サービスラーニング 体育講義※ スポーツと健康

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	谷原（西田）　舞 (35) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)	サービスラーニング 文章表現※ 基礎ゼミ 異文化交流(海外語学研修)
兼担	講師	東本　康栄 (47) ＜令和4年4月＞ 学士（芸術）	サービスラーニング くらしと色彩
兼任	講師	三戸　秀樹 (77) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）	社会心理学
兼任	講師	松島　哲久 (73) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）	生命倫理 医療倫理
兼任	講師	大喜多　守 (50) ＜令和4年4月＞ 博士（薬学）	臨床薬理学
兼任	講師	久保　富三夫 (73) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）	教育制度論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	谷原（西田）　舞 (36) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)	サービスラーニング 文章表現※ 基礎ゼミ 異文化交流(海外語学研修)
兼担	講師	東本　康栄 (48) ＜令和4年4月＞ 学士（芸術）	サービスラーニング くらしと色彩
兼任	講師	三戸　秀樹 (78) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）	社会心理学
兼任	講師	松島　哲久 (74) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）	生命倫理 医療倫理
兼任	講師	大喜多　守 (51) ＜令和4年4月＞ 博士（薬学）	臨床薬理学
兼任	講師	久保　富三夫 (74) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）	教育制度論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	谷原（西田）　舞 (37) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)	サービスラーニング 文章表現※ 基礎ゼミ 異文化交流(海外語学研修)
兼担	講師	東本　康栄 (49) ＜令和4年4月＞ 学士（芸術）	サービスラーニング くらしと色彩
兼任	講師	大野　太郎 (68) ＜令和5年4月＞ 博士（人間科学）	社会心理学
兼任	講師	松島　哲久 (75) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）	生命倫理 医療倫理
兼任	講師	大喜多　守 (52) ＜令和4年4月＞ 博士（薬学）	臨床薬理学
兼任	講師	久保　富三夫 (75) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）	教育制度論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	谷原（西田）　舞 (38) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)	サービスラーニング 文章表現※ 基礎ゼミ 異文化交流(海外語学研修)
兼担	講師	東本　康栄 (50) ＜令和4年4月＞ 学士（芸術）	サービスラーニング くらしと色彩
兼任	講師	藤丸　郁代 (69) ＜令和6年4月＞ 博士（生命医科学）	社会健康学 地域包括ケア論Ⅲ（地域・学校）
兼任	講師	大野　太郎 (69) ＜令和5年4月＞ 博士（人間科学）	社会心理学
兼任	講師	松島　哲久 (76) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）	生命倫理
兼任	講師	山本　あい子 (71) ＜令和6年4月＞ 博士（看護学）	医療倫理
兼任	講師	大喜多　守 (53) ＜令和4年4月＞ 博士（薬学）	臨床薬理学
兼任	講師	久保　富三夫 (76) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）	教育制度論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	谷原（西田）　舞 (39) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)	
兼担	講師	東本　康栄 (51) ＜令和4年4月＞ 学士（芸術）	サービスラーニング くらしと色彩
兼任	講師	大野　太郎 (70) ＜令和5年4月＞ 博士（人間科学）	社会心理学
兼任	講師	松島　哲久 (77) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）	生命倫理
兼任	講師	山本　あい子 (72) ＜令和6年4月＞ 博士（看護学）	医療倫理
兼任	講師	大喜多　守 (54) ＜令和4年4月＞ 博士（薬学）	臨床薬理学
兼任	講師	久保　富三夫 (77) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）	教育制度論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	藤田　修三 (69) ＜令和5年4月＞ 博士(栄養学)	栄養学
兼任	講師	津田　右子 (69) ＜令和5年4月＞ 修士(看護学)	看護理論※
兼任	講師	西本　泰久 (69) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)	疾病治療論Ⅱ
兼任	講師	久保山　一敏 (68) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)	疾病治療論Ⅲ
兼任	講師	梅田　勝 (66) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)	公衆衛生学(疫学)
兼任	講師	毛利　豊和 (65) ＜令和6年4月＞ 教育学士	道徳教育の理論と方法
兼任	講師	大橋　一友 (65) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)	疾病治療論Ⅳ
兼任	講師	岩井　佳子 (62) ＜令和7年4月＞ 修士（児童学）	音楽療法入門
兼任	講師	井野崎　千代子 (61) ＜令和4年4月＞ 文学修士/哲学修士/中世学修士	Ｒｅａｄｉｎｇ Ⅰ Ｒｅａｄｉｎｇ Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	藤田　修三 (70) ＜令和5年4月＞ 博士(栄養学)	栄養学
兼任	講師	津田　右子 (70) ＜令和5年4月＞ 修士(看護学)	看護理論※
兼任	講師	西本　泰久 (70) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)	疾病治療論Ⅱ
兼任	講師	久保山　一敏 (69) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)	疾病治療論Ⅲ
兼任	講師	梅田　勝 (67) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)	公衆衛生学(疫学)
兼任	講師	毛利　豊和 (66) ＜令和6年4月＞ 教育学士	道徳教育の理論と方法
兼任	講師	大橋　一友 (65) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)	疾病治療論Ⅳ
兼任	講師	岩井　佳子 (63) ＜令和7年4月＞ 修士（児童学）	音楽療法入門

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	藤田　修三 (71) ＜令和5年4月＞ 博士(栄養学)	栄養学
兼任	講師	津田　右子 (71) ＜令和5年4月＞ 修士(看護学)	看護理論※
兼任	講師	西本　泰久 (71) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)	疾病治療論Ⅱ
兼任	講師	久保山　一敏 (70) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)	疾病治療論Ⅲ
兼任	講師	梅田　勝 (68) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)	公衆衛生学(疫学)
兼任	講師	毛利　豊和 (67) ＜令和6年4月＞ 教育学士	道徳教育の理論と方法
兼任	講師	岩井　佳子 (64) ＜令和7年4月＞ 修士（児童学）	音楽療法入門

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	藤田　修三 (72) ＜令和5年4月＞ 博士(栄養学)	栄養学
兼任	講師	津田　右子 (72) ＜令和5年4月＞ 修士(看護学)	看護理論※
兼任	講師	西本　泰久 (72) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)	疾病治療論Ⅱ
兼任	講師	久保山　一敏 (71) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)	疾病治療論Ⅲ
兼任	講師	梅田　勝 (69) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)	公衆衛生学(疫学)
兼任	講師	毛利　豊和 (68) ＜令和6年4月＞ 教育学士	道徳教育の理論と方法
兼任	講師	岩井　佳子 (65) ＜令和7年4月＞ 修士（児童学）	音楽療法入門

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	藤田　修三 (73) ＜令和5年4月＞ 博士(栄養学)	栄養学
兼任	講師	佐藤　紀子 (71) ＜令和7年4月＞ 博士(看護学)	看護理論※
兼任	講師	西本　泰久 (73) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)	疾病治療論Ⅱ 疾病治療論Ⅲ
兼任	講師	梅田　勝 (70) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)	公衆衛生学(疫学)
兼任	講師	毛利　豊和 (69) ＜令和6年4月＞ 教育学士	道徳教育の理論と方法
兼任	講師	岩井　佳子 (66) ＜令和7年4月＞ 修士（児童学）	音楽療法入門

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	坂本　憲弘 (61) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)	病理学
兼任	講師	伊東　美佐江 (58) ＜令和5年4月＞ 博士（医学）	クリティカル・シンキング
兼任	講師	尾崎　千晶 (57) ＜令和4年4月＞ 修士(英語学)	Ｗｒｉｔｉｎｇ Ｒｅａｄｉｎｇ Ⅱ
兼任	講師	小林　將元 (56) ＜令和5年4月＞ 学士(保健体育)	ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ・ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ
兼任	講師	田中　春香 (55) 学士（文学） ＜令和6年4月＞	医療英語

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	Md Atikur Rahman (30) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）	Ｒｅａｄｉｎｇ Ⅰ Ｒｅａｄｉｎｇ Ⅱ
兼任	講師	坂本　憲弘 (62) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)	病理学
兼任	講師	伊東　美佐江 (59) ＜令和5年4月＞ 博士（医学）	クリティカル・シンキング
兼任	講師	尾崎　千晶 (58) ＜令和4年4月＞ 修士(英語学)	Ｗｒｉｔｉｎｇ Ｒｅａｄｉｎｇ Ⅱ
兼任	講師	小林　將元 (57) ＜令和5年4月＞ 学士(保健体育)	ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ・ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ
兼任	講師	田中　春香 (56) 学士（文学） ＜令和6年4月＞	医療英語

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	鄭　京淑 (66) ＜令和5年10月＞ 修士（英語教育）	Ｒｅａｄｉｎｇ Ⅰ Ｒｅａｄｉｎｇ Ⅱ
兼任	講師	坂本　憲弘 (63) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)	病理学
兼任	講師	伊東　美佐江 (60) ＜令和5年4月＞ 博士（医学）	クリティカル・シンキング
兼任	講師	尾崎　千晶 (59) ＜令和4年4月＞ 修士(英語学)	Ｗｒｉｔｉｎｇ Ｒｅａｄｉｎｇ Ⅱ Ｐｒｏｃｅｓｓ Ｗｒｉｔｉｎｇ
兼任	講師	小林　將元 (58) ＜令和5年4月＞ 学士(保健体育)	ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ・ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ
兼任	講師	田中　春香 (57) 学士（文学） ＜令和6年4月＞	医療英語

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	鄭　京淑 (67) ＜令和5年10月＞ 修士（英語教育）	Ｒｅａｄｉｎｇ Ⅰ Ｒｅａｄｉｎｇ Ⅱ
兼任	講師	坂本　憲弘 (64) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)	病理学
兼任	講師	伊東　美佐江 (61) ＜令和5年4月＞ 博士（医学）	クリティカル・シンキング
兼任	講師	尾崎　千晶 (60) ＜令和4年4月＞ 修士(英語学)	Ｗｒｉｔｉｎｇ Ｒｅａｄｉｎｇ Ⅱ Ｐｒｏｃｅｓｓ Ｗｒｉｔｉｎｇ
兼任	講師	白砂　明子 (53) ＜令和6年4月＞ 学士(社会学)	ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ・ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ
兼任	講師	藤村　泰王 (42) ＜令和6年4月＞	ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ・ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	鄭　京淑 (68) ＜令和5年10月＞ 修士（英語教育）	Ｒｅａｄｉｎｇ Ⅰ Ｒｅａｄｉｎｇ Ⅱ
兼任	講師	坂本　憲弘 (65) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)	病理学
兼任	講師	伊東　美佐江 (62) ＜令和5年4月＞ 博士（医学）	クリティカル・シンキング
兼任	講師	尾崎　千晶 (61) ＜令和4年4月＞ 修士(英語学)	Ｗｒｉｔｉｎｇ Ｒｅａｄｉｎｇ Ⅱ Ｐｒｏｃｅｓｓ Ｗｒｉｔｉｎｇ
兼任	講師	白砂　明子 (53) ＜令和6年4月＞ 学士(社会学)	ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ・ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ
兼任	講師	藤村　泰王 (42) ＜令和6年4月＞	ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ・ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	津田　泰宏 (53) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)	疾病治療論Ⅰ
兼任	講師	寺田 裕美子 (52) ＜令和7年4月＞ 修士(学術)	園芸療法入門
兼任	講師	木村　智子 (50) ＜令和4年4月＞ 博士（医学）	人体の構造と機能(解剖学)
兼任	講師	小野　聡子 (50) ＜令和5年4月＞ 修士(保健看護学)	クリティカル・シンキング
兼任	講師	小野　晃正 (49) ＜令和4年4月＞ 博士（法学）	社会と人権(日本国憲法)
兼任	講師	山本　美輪 (49) ＜令和5年4月＞ 博士(看護学)	生活機能支援論Ⅳ－①(老年)※
兼任	講師	山口　悦司 (49) ＜令和6年4月＞ 博士(学術)	教育課程論
兼任	講師	Henriques de Lima Nuno Alexandre (48) ＜令和7年4月＞ 神学博士	宗教論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	津田　泰宏 (54) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)	疾病治療論Ⅰ
兼任	講師	寺田 裕美子 (53) ＜令和7年4月＞ 修士(学術)	園芸療法入門
兼任	講師	木村　智子 (51) ＜令和4年4月＞ 博士（医学）	人体の構造と機能(解剖学)
兼任	講師	小野　聡子 (51) ＜令和5年4月＞ 修士(保健看護学)	クリティカル・シンキング
兼任	講師	小野　晃正 (50) ＜令和4年4月＞ 博士（法学）	社会と人権(日本国憲法)
兼任	講師	山本　美輪 (50) ＜令和5年4月＞ 博士(看護学)	生活機能支援論Ⅳ－①(老年)※
兼任	講師	山口　悦司 (50) ＜令和6年4月＞ 博士(学術)	教育課程論
兼任	講師	Henriques de Lima Nuno Alexandre (49) ＜令和7年4月＞ 神学博士	宗教論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	津田　泰宏 (55) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)	疾病治療論Ⅰ
兼任	講師	寺田 裕美子 (54) ＜令和7年4月＞ 修士(学術)	園芸療法入門
兼任	講師	小野　聡子 (52) ＜令和5年4月＞ 修士(保健看護学)	クリティカル・シンキング
兼任	講師	小野　晃正 (51) ＜令和4年4月＞ 博士（法学）	社会と人権(日本国憲法)
兼任	講師	山本　美輪 (51) ＜令和5年4月＞ 博士(看護学)	生活機能支援論Ⅳ－①(老年)※
兼任	講師	山口　悦司 (51) ＜令和6年4月＞ 博士(学術)	教育課程論
兼任	講師	Henriques de Lima Nuno Alexandre (50) **＜令和5年4月＞** 神学博士	宗教論 **キリスト教と人間** **現代とキリスト教** **人間論（哲学）**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	**講師**	**伊藤　尚子** **(62)** **修士（保健学）** **＜令和6年4月＞**	**医療英語**
兼任	講師	津田　泰宏 (56) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)	疾病治療論Ⅰ
兼任	講師	寺田 裕美子 (55) ＜令和7年4月＞ 修士(学術)	園芸療法入門
兼任	講師	小野　聡子 (53) ＜令和5年4月＞ 修士(保健看護学)	クリティカル・シンキング
兼任	講師	小野　晃正 (52) ＜令和4年4月＞ 博士（法学）	社会と人権(日本国憲法)
兼任	講師	山本　美輪 (52) ＜令和5年4月＞ 博士(看護学)	生活機能支援論Ⅳ－①(老年)※
兼任	講師	山口　悦司 (52) ＜令和6年4月＞ 博士(学術)	教育課程論
兼任	講師	Henriques de Lima Nuno Alexandre (51) **＜令和5年4月＞** 神学博士	宗教論 **キリスト教と人間** **現代とキリスト教** **人間論（哲学）**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	**講師**	**伊藤　尚子** **(63)** **修士（保健学）** **＜令和6年4月＞**	**医療英語**
兼任	講師	津田　泰宏 (57) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)	疾病治療論Ⅰ
兼任	講師	寺田 裕美子 (56) ＜令和7年4月＞ 修士(学術)	園芸療法入門
兼任	講師	小野　聡子 (54) ＜令和5年4月＞ 修士(保健看護学)	クリティカル・シンキング
兼任	講師	小野　晃正 (53) ＜令和4年4月＞ 博士（法学）	社会と人権(日本国憲法)
兼任	講師	山本　美輪 (53) ＜令和5年4月＞ 博士(看護学)	生活機能支援論Ⅳ－①(老年)※
兼任	講師	山口　悦司 (53) ＜令和6年4月＞ 博士(学術)	教育課程論
兼任	講師	Henriques de Lima Nuno Alexandre (52) **＜令和5年4月＞** 神学博士	宗教論 **キリスト教と人間** **現代とキリスト教** **人間論（哲学）**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	川地　亜弥子 (47) ＜令和6年4月＞ 博士(教育学)	特別活動及び総合的な学習の指導法 生徒指導
兼任	講師	宮本　智子 (46) ＜令和4年4月＞ 修士（神学）	キリスト教と人間 現代とキリスト教 人間論(哲学)
兼任	講師	Poppon Emmanuel (42) ＜令和4年4月＞ 学士（神学）	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	石川　大輔 (41) ＜令和6年4月＞ 修士(人間環境学)	生活機能支援論Ⅲ－③(ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ)※
兼任	講師	藤井　真一 (40) ＜令和4年4月＞ 博士(人間科学)	文化人類学(異文化理解)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	川地　亜弥子 (48) ＜令和6年4月＞ 博士(教育学)	特別活動及び総合的な学習の指導法 生徒指導
兼任	講師	宮本　智子 (47) ＜令和4年4月＞ 修士（神学）	キリスト教と人間 現代とキリスト教 人間論(哲学)
兼任	講師	Jean-Marie KAZENGA TSHIMBALANGA (38) ＜令和4年4月＞ 学士（神学）	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	石川　大輔 (42) ＜令和6年4月＞ 修士(人間環境学)	生活機能支援論Ⅲ－③(ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ)※
兼任	講師	藤井　真一 (41) ＜令和4年4月＞ 博士(人間科学)	文化人類学(異文化理解)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	川地　亜弥子 (49) ＜令和6年4月＞ 博士(教育学)	特別活動及び総合的な学習の指導法 生徒指導
兼任	講師	Jean-Marie KAZENGA TSHIMBALANGA (39) ＜令和4年4月＞ 学士（神学）	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	落合　芳 (48) ＜令和5年5月＞ 修士（文学）	フランス語Ⅰ
兼任	講師	石川　大輔 (43) ＜令和6年4月＞ 修士(人間環境学)	生活機能支援論Ⅲ－③(ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ)※
兼任	講師	清水　拓野 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）	文化人類学（異文化理解）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	川地　亜弥子 (50) ＜令和6年4月＞ 博士(教育学)	特別活動及び総合的な学習の指導法 生徒指導
兼任	講師	Jean-Marie KAZENGA TSHIMBALANGA (40) ＜令和4年4月＞ 学士（神学）	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	近藤　由佳 (53) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）	フランス語Ⅰ
兼任	講師	石川　大輔 (44) ＜令和6年4月＞ 修士(人間環境学)	生活機能支援論Ⅲ－③(ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ)※
兼任	講師	清水　拓野 (52) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）	文化人類学（異文化理解）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	川地　亜弥子 (51) ＜令和6年4月＞ 博士(教育学)	特別活動及び総合的な学習の指導法 生徒指導
兼任	講師	Jean-Marie KAZENGA TSHIMBALANGA (41) ＜令和4年4月＞ 学士（神学）	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	近藤　由佳 (54) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）	フランス語Ⅰ
兼任	講師	石川　大輔 (45) ＜令和6年4月＞ 修士(人間環境学)	生活機能支援論Ⅲ－③(ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ)※
兼任	講師	清水　拓野 (53) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）	文化人類学（異文化理解）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	森田　美紀 (36) ＜令和6年4月＞ 修士（学校保健）	養護学概説※ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ※
兼任	講師	松端　克文 (57) ＜令和4年4月＞ 社会学修士	社会福祉論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	森田　美紀 (37) ＜令和6年4月＞ 修士（学校保健）	養護学概説※ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ※
兼任	講師	松端　克文 (58) ＜令和4年4月＞ 社会学修士	社会福祉論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	森田　美紀 (38) ＜令和6年4月＞ 修士（学校保健）	養護学概説※ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ※
兼任	講師	松端　克文 (59) ＜令和4年4月＞ 社会学修士	社会福祉論
兼任	講師	西村　範行 (55) ＜令和6年10月＞ 医学博士	疾病治療論Ⅳ
兼任	講師	櫻井　優祐 (34) ＜令和6年10月＞ 修士（保健学）	生活機能支援論実習Ⅲ－①（急性）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	森田　美紀 (39) ＜令和6年4月＞ 修士（学校保健）	養護学概説※ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ※
兼任	講師	伊藤　隆博 (44) ＜令和6年4月＞ 修士（社会福祉学）	社会福祉論
兼任	講師	西村　範行 (56) ＜令和6年10月＞ 医学博士	疾病治療論Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	森田　美紀 (40) ＜令和6年4月＞ 修士（学校保健）	養護学概説※ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ※
兼任	講師	原田　徹 (55) ＜令和7年4月＞ 修士(学術)	社会福祉論
兼任	講師	西村　範行 (57) ＜令和6年10月＞ 医学博士	疾病治療論Ⅳ

(注)・ 報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・ 認可申請書又は設置届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
・「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・ 年齢は、**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼担、兼任の順に記入してください。
・ 不要な年度（令和６年度開設であれば令和５年度以前）の表は適宜削除してください。
・ 指定規則の改正により、新旧ｶﾘｷｭﾗﾑを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のｶﾘｷｭﾗﾑ（新ｶﾘｷｭﾗﾑ）の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のｶﾘｷｭﾗﾑ（旧ｶﾘｷｭﾗﾑ）の授業科目名を記入してください。

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【令和４年度】

・有田弥棋子講師就任辞退。後任未定であるが、令和4年10月から専任教員採用予定で公募中。
・中村千賀助教（令和2年12月教員審査済）の着任が１年繰り下げとなった。本人の科目担当開始年度は、令和6年4月である。

【令和５年度】

・令和５年４月　得居みのり准教授就任(有田弥棋子講師の後任)。令和４年９月教員審査済み。
・令和５年度　　松尾博哉教授「人体の構造と機能(解剖学)」と「疾病治療論Ⅳ」を追加担当（木村智子兼任講師、大橋一友兼任講師の辞任）。令和４年１２月教員審査済み。また、大橋一友兼任講師辞退のため「疾病治療論Ⅳ」西村範行兼任講師に変更。
・令和５年４月　松村麻衣子助教就任。（西垣里志准教授の後任）。令和４年９月教員審査済み。
・令和５年度　　桑原唯助教就任辞退に伴う後任を公募中。

【令和６年度】

・令和６年４月　　西村美八教授退職。後任未定であるが、専任教員採用予定で公募中。
　「健康教育論」を複数担当として岩澤和子教授と中村千賀助教に変更。（いずれも令和5年11月教員審査済）
　「教養ゼミ」を美王真紀講師、「基礎ゼミ」を松村麻衣子助教に変更。（いずれも令和6年2月教員審査済）
　「看護研究Ⅰ」「看護研究Ⅱ」「看護研究Ⅲ」「看護研究Ⅳ」を得居みのり准教授に変更（令和6年5月教員審査済）
　「看護研究Ⅰ」「看護研究Ⅱ」について上田博之教授を追加。（令和6年2月教員審査済）
　「社会健康学」は藤丸郁代兼任講師に変更。
　「地域包括ケア論Ⅲ(地域・学校)」は西村教授担当分を藤丸郁代兼任講師に変更。

・令和６年４月　櫻井優祐　助教就任（桑唯原講師の後任）。（令和5年11月教員審査済）
　「ヒューマンケア実習Ⅱ」「生活機能支援論Ⅲ－①(急性)」「生活機能支援論Ⅲ－③(ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ)「生活機能支援論Ⅲ－④(急性)」「生活機能支援論実習Ⅲ－①(急性)」を担当。

・田中晴香兼任講師辞退により「医療英語」を松尾博哉教授と伊藤尚子兼任講師に変更。
・小林將元兼任講師辞退により「メンタルヘルス・プロモーション」を美王真紀講師（令和６年11月教員審査済）と白砂明子兼任講師、藤村泰王兼任講師に変更。
・「医療倫理」について、山本あいこ兼任講師に変更。
・「サービスラーニング」に中村千賀助教が担当。（令和6年2月教員審査済）
・落合芳兼任講師辞退のため「フランス語Ⅰ」を近藤由佳兼任講師に変更。

【令和７年度】

・令和7年度　石垣恭子教授就任。「基礎ゼミ」「教養ゼミ」「データサイエンス」「情報リテラシーⅠ」「情報リテラシーⅡ」「健康教育論」「社会健康学」「保険統計学」「地域包括ケア論Ⅲ(地域・学校)」「地域包括ケア論実習Ⅲ－②(統合：地域)」「地域包括ケア論Ⅳ（在宅）」「看護研究Ⅰ」「看護研究Ⅱ」「看護研究Ⅲ」「看護研究Ⅳ」（令和６年１１月教員審査済み）
・令和7年度　小代仁美准教授就任。「ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ」「ヒューマンケア実習Ⅱ」「生涯発達看護論Ⅱ(小児)」「生活機能支援論Ⅱ－①(小児)」「生活機能支援論Ⅱ－②(小児)」「生活機能支援論実習Ⅱ(小児)」「看護研究Ⅱ」「看護研究Ⅲ」「看護研究Ⅳ」を担当。（令和７年２月教員審査済み）

・津田右子兼任講師辞退のため「看護倫理」を佐藤紀子兼任講師に変更。
・久保山一敏兼任講師辞退のため「疾病治療論Ⅲ」を西本泰久兼任講師に変更。
・伊藤隆博兼任講師辞退のため「社会福祉論」を原田徹兼任講師に変更。

(注)・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
　・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
　大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**原則としてＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
　・　ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してくださ
　・　不要な年度（令和６年度開設であれば令和５年度以前）の表は適宜削除してください。

（２） 専任教員数等

（注）・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「（２）-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「（２）-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

（２）ー① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
12 名	6 名

(注)・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

（２）ー② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	助手（A’）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	助手（B’）
13	4	9	4	30	9	13	5	7	5	30	9
10	2	6	2	20	2						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）	助手（C’）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（D）	助手（D’）
13	5	7	5	30	9	13	5	7	5	30	9
[0]	[1]	[△2]	[1]	[0]	[0]	[0]	[1]	[△2]	[1]	[0]	[0]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、
［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）ー③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
70 歳	4 名	4 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）ー④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{30}{30} = 100\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）ー⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{4}{30} = 13.33\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）ー⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C’）}}{\text{設置時の計画（A’）}} = \frac{9}{9} = 100\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）ー①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	講師	有田　弥棋子	R4.3	必修	基礎ゼミ	①	R4.3　就任辞退（4）
				必修	基礎技術Ⅰ※	①	
				必修	基礎技術Ⅱ※	①	
				必修	ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※	①	
				必修	臨床判断論※	①	
				必修	ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ	①	
				必修	ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ	①	
				必修	生活機能支援論Ⅳ－①(老年)※	①	
				必修	生活機能支援論Ⅳ－②(老年)	①	
				必修	生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年)	①	
				必修	生活機能支援論実習Ⅳ－②(老年)	①	
				必修	地域包括ケア論実習Ⅰ(老年)	①	
2	准教授	西垣　里志	R5.3	必修	ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※	①	自己都合による就任辞退（５）
				必修	生活機能支援論Ⅴ－①(精神)※	①	
				必修	生活機能支援論Ⅴ－②(精神)	①	
				必修	生活機能支援論実習Ⅴ(精神)	①	
				必修	看護研究Ⅱ	①	
				必修	看護研究Ⅲ	①	
				必修	看護研究Ⅳ	①	
3	講師	桑原　唯	R5.3	必修	ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅱ	①	自己都合による就任辞退（５）
				必修	生活機能支援論Ⅲ－①(急性)※	①	
				必修	生活機能支援論Ⅲ－②(慢性)※	②	
				必修	生活機能支援論Ⅲ－③(ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ)※	①	
				必修	生活機能支援論Ⅲ－④(急性)※	①	
				必修	生活機能支援論Ⅲ－⑤(慢性)	②	
				必修	生活機能支援論実習Ⅲ－①(急性)	①	
				必修	生活機能支援論実習Ⅲ－②(慢性)	②	

合計（Ｄ）				後任補充状況の集計（Ｅ）							
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）	
3　人	必修	27	科目	必修	24	科目	必修	3	科目	必修	0　科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0　科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0　科目
	計	27	科目	計	24	科目	計	3	科目	計	0　科目

(注)・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。

・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。

・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）ー②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	西村　美八	R6.3	必修	基礎ゼミ	①	自己都合による退職（６）
				必修	教養ゼミ	①	
				必修	健康教育論※	①	
				必修	社会健康学	①	
				必修	ﾋｭｰﾏﾝｹｱ実習Ⅰ	①	
				必修	生活機能支援論実習Ⅳ－①(老年)	①	
				必修	地域包括ケア論Ⅲ(地域・学校)※	①	
				必修	地域包括ケア論Ⅳ(在宅)※	①	
				必修	地域包括ケア論実習Ⅲ－②(統合：地域)	①	
				必修	看護研究Ⅰ※	①	
				必修	看護研究Ⅱ	①	
				必修	看護研究Ⅲ	①	
				必修	看護研究Ⅳ	①	
2	講師	中野　幸子	R7.3	必修	ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄⅡ※	①	自己都合による退職（７）
				必修	生涯発達看護論Ⅱ(小児)※	①	
				必修	生活機能支援論Ⅱ－①(小児)※	①	
				必修	生活機能支援論Ⅱ－②(小児)	①	
				必修	生活機能支援論実習Ⅱ(小児)	①	
				必修	看護研究Ⅱ	①	
				必修	看護研究Ⅲ	①	
				必修	看護研究Ⅳ	①	

合計（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｇ）							
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）	
2　人	必修	21	科目	必修	21	科目	必修	0	科目	必修	0　科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0　科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0　科目
	計	21	科目	計	21	科目	計	0	科目	計	0　科目

(注)・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③　上記（３）－①　・　（３）－②　の合計

合計（D）＋（F）				後任補充状況の集計（E）＋（G）								
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
5　人	必修	48	科目	必修	45	科目	必修	3	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	48	科目	計	45	科目	計	3	科目	計	0	科目

（３）－④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{5}{30} = 16.66\%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）－⑤　令和６年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

(注)・（３）－①、（３）－②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
・ 令和７年度開設の学科等の場合、（D）＋（F）と同数を記載してください。

（３）ー⑥　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当者なし				

合計			後任補充状況の集計		
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0　人	必修	0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目
	選択	0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目
	自由	0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目
	計	0　科目	計　0　科目	計　0　科目	計　0　科目

(注)・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４）　専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・西村美八教授辞任に伴い、令和6年度は、共同開講科目は設置申請時に審査済の他の専任教員が担い、それ以外の科目は兼任講師が担当していたが、AC教員審査に対応できる教員を令和7年4月1日付で採用した。
・中野幸子講師辞任に伴い、AC教員審査に対応できる教員を令和7年4月1日付で採用した。
・学生に対しては、担当者の変更を履修ガイダンス、シラバス、時間割等で十分に周知を図る。

（注）・ 上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入し

６　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
認　可　時 （令和4年）	・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から４年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	【認可】 遵守事項	設置申請書に即し鋭意実践中である。４年制大学にふさわしい教育研究活動については、教職協働により教育研究に専念できる体制づくりを進めている。	履行中	引き続き、左記の取組を進めていく。
認　可　時 （令和4年）	・長期的かつ安定的な学生の確保に資するため、本学に対する社会的なニーズを客観的な根拠に基づき分析するなどにより、学生募集活動の充実を図るとともに、アドミッション・ポリシーにかなう学生の十分な確保に努めること。	【認可】 遵守事項	入試委員会および広報委員会が中心となり、本学の競合大学とのデータ比較分析を行い、それを元に本学のアドミッションポリシーにかなう学生を確保するために全教員及び職員が参加して学生募集活動を展開している。	履行中	入学者選抜方法については、設置計画に示した内容、方法で実施していく予定である。本学に対するニーズ等の分析は、広く高校生の進学情報を持つ業者の協力を得つつ、本学教職員による高校訪問で得られる情報等を併せて本学に対する社会的ニーズを可能な限り客観的に把握していく。アドミッションポリシーとの関係では、引き続き設置計画に示した内容に沿って選抜を行う予定である。
認　可　時 （令和4年）	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	【認可】 遵守事項	完成年度後の将来を見通した構想を踏まえて、後任人事の計画を立案中である。その際、若手・中堅教員層の充実を図るよう留意する。また、昇任人事を進められるよう若手・中堅教員の研究活動の活性化を図る。教員補充計画を進めるため、令和４年度は教員任用規程を定めた。	履行中	大学開設２年目から公募によって大学完成年度以降の教員補充計画を進めていく。教育研究の効果的な継続に最大限配慮しながら、可能な限り若手教員の採用を行う予定である。
認　可　時 （令和4年）	・新設大学において、確実に学生を確保できるよう、戦略的に取り組むこと。	【認可】 遵守事項	入試委員会および広報委員会を中心に学生確保の戦略を綿密に練り、それに基づき全教職員が有機的に活動できるように取り組んでいる。	履行中	引き続き法人内の併設校を含めて本学の建学の精神を共有する高等学校との連携を強化して行く。奨学金制度は継続して運用する。従来本学との関係の強い高校を重点校と設定し、教職員の担当者を決めて出前授業、高校訪問等の細かな活動を強化していく。
認　可　時 （令和4年）	・経常収入に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低く、また、完成年度に至るまでこの状況が継続する見込みとなっていることから、教育研究条件の充実向上に取り組むこと。	【認可】 遵守事項	教員数の増加に伴い、教育研究経費を高め、教育の質の向上を図る。個人研究経費についても、今までの10万円から教授・准教授25万円、講師・助教20万円と倍増した。教育研究条件の向上を図るために外部資金（とくに科研費）の獲得をめざす努力を行っている。	履行中	完成年度に向けて計画的に教育研究経費の割合を高め、教育の質を高めることとしている。完成年度までに定員を充足させ、他大学と同等レベルくらいまでに教育研究経費、個人研究費も引き上げる事ができるよう取り組む。
認　可　時 （令和4年）	・学校法人運営に支障のないよう、確実に資金計画を実行するとともに、特に、負債の償還にあたっては、関連団体からの寄附金に過度に依存しない返済計画を立てた上で、計画どおりに負債を償還し、負債の減少に努めること。	【認可】 遵守事項	令和４年度は大学全体の入学定員は充足できなかった（入学定員充足率69.4%）ため、一部資金計画に見直しの必要が生じた。令和５年度の入学定員充足率が92.5%へと改善し、同時にすべての法人内併設校で昨年度に続き生徒数増となったため、負債の返済は計画通り進める予定である。	履行中	学生生徒募集を確実に進め、定員確保を図り、負債の返還を計画通りに進めて、教育研究経費を適切に充当していくよう努力する。また、令和６年度の学費改訂を行い収入増を図る。これらの点は、経営改善計画として法人全体で共有し、負債の減少に努める。

認　可　時 （令和4年）	・設置校の多くで定員未充足の状態が生じていることにより、学校法人の財務状況が近年悪化傾向にあるため、経営基盤の安定確保及び経営改善に向けた中長期的な財務計画を必要に応じて見直し実行すること。あわせて、校舎の老朽化に対応する修繕を含めた中長期的な施設整備計画について、計画どおりに実行すること。	【認可】 遵守事項	令和４年度の大学入学者数（教育学部１６名、看護学部９５名）が定員に満たなかったこと、併設校での定員未充足が続いていることなど一気に改善するには至らないが、法人全体での学生生徒数が対前年度比で令和４年度は４９名の増、令和５年度は２１２名の増となり、決算面では、令和４年度の事業活動収入が増となった。 施設整備計画では、大学設置に係る本館の教室改修ならびに本館および１号館のラーニングコモンズ整備などを設置計画に基づき進めた。	履行中	大学および併設各校の入学定員充足により収入増を図る。収入と支出のバランスを考慮しながら経営基盤の安定化を目指していく。 施設整備計画は、令和３年度中にほぼ終了したが、教室内のＡＶ環境の整備、Wi-Fi環境の改善等教育ニーズを考慮して教育研究条件の改善を図っていく。
認　可　時 （令和4年）	・改組転換（既設の短期大学等を廃止して、その教員組織、施設設備を基に新たな大学等を設置することによる標準設置経費等の特例）に該当するため、審査基準上、設置経費が標準設置経費を下回っても差し支えないが、校舎（機械、器具等）の整備にあたり教育研究に支障がないよう配慮すること。	【認可】 遵守事項	校舎整備では、大学開学準備として令和３年度中に教育用の機械器具、標本模型、什器備品を整備するとともに必要な図書の整備を行った。 令和４年度においては、教室、研究室の什器の更新とオンライン対応を含む図書の充実を図った。	履行中	令和6年度も、Wi-Fi、AV機器をはじめとするデジタル機器等更新の環境整備を進めていく予定である。
認　可　時 （令和4年）	・改組転換（既設の短期大学等を廃止して、その教員組織、施設設備を基に新たな大学等を設置することによる負債率等の特例）に該当することから、大阪信愛学院短期大学については、計画どおり廃止すること。	【認可】 遵守事項	・予定どおり令和４年度の大阪信愛学院短期大学の学生募集を停止し、子供教育学科を廃止した。	履行中	令和４年度からの学生募集停止により令和６年３月に大阪信愛学院短期大学は看護学科を閉学とした。
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和5年度）	入学者選抜の適切な実施等を通じ，収容定員超過の改善に努めること。（看護学部看護学科）	【ＡＣ】 指摘事項 （改善）	令和6年度の看護学部入学者は61名となり、定員充足率は、101%となった。	履行中	安定的な収容定員の確保および維持に努める。

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。） と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和６年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和６年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。

【令和６年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和６年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）（７）」と記載してください。

【令和７年度から新たに調査対象となった学科等又は令和６年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。

・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

７　その他全般的事項

＜看護学部　看護学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど

（注）・ １～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

ア【大阪信愛学院大学FD・SD委員会】

令和4年4月に大学組織として設置。構成員は、学長が指名した委員長及び委員長が氏名した副委員長、各学部から選出された教員（各2名）、総務課長である。

イ【大阪信愛学院大学学術・研究推進委員会】

令和4年4月に大学組織として設置。構成員は、学長指名の委員長及び両学部長、しんあい教育研究ケアセンター長、研究倫理委員長、総務課長である。

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

ア【大阪信愛学院大学FD・SD委員会】

令和4年度の委員会は、5回、令和5年は5回、令和6年は6回、令和7年は年間6回開催予定である。

イ【大阪信愛学院大学学術・研究推進委員会】

令和4年度の委員会は、10回、令和5年は11回開催し、令和6年は6回開催し、令和7年は年間6回開催予定である。

ｃ　委員会の審議事項等

ア【大阪信愛学院大学FD・SD委員会】

（１）建学の精神に基づく教育推進のための研修及び調査に関すること。
（２）教育力向上、教授法改善のための研修及びその支援に関すること。
（３）職員の能力開発、向上のための研修及びその支援に関すること。
（４）ファカルティ・ディベロップメント及びスタッフ・ディベロップメントに関すること。
（５）その他委員会の目的達成のために必要な事業に関すること。

イ【大阪信愛学院大学学術・研究推進委員会】

（１）研究組織・研究環境整備に関すること。
（２）研究費のあり方に関すること。
（３）研究費の不正使用防止に関すること。
（４）知的財産の創出・活用に関すること。
（５）研究活動の評価・改善に関すること。
（６）研究成果の発信（紀要、出版等）に関すること。
（７）外部競争資金の導入促進に関すること。
（８）地域・他大学連携等の研究推進に関すること。
（９）その他、研究推進に関すること。

ｄ　教員評価制度の実施

令和6年度から自己評価及び学長又は学部長による面談を通じた教員評価制度を設け、運用を開始した。

② 実施状況

ａ 実施内容

ア【大阪信愛学院大学FD・SD委員会】

・ 授業評価アンケートの実施

・ FD・SD研修を実施している。令和4年度は6回、令和5年度は１回実施し、今後数回の開催を予定している。

イ【大阪信愛学院大学学術・研究推進委員会】

・ FD・SD委員会と共催で研修を実施している。

ｂ 実施方法

ア【大阪信愛学院大学FD・SD委員会】

・ 授業改善と実態把握のため前期・後期開講科目の授業評価アンケートを行う。

・ 共同研究促進のための研究交流研修の開催を予定。

・ コンプライアンス・ハラスメント防止研修会の開催

イ【大阪信愛学院大学学術・研究推進委員会】

・令和５年度から学内研究奨励費制度を設け、コンペ形式で募集、選考し、合格者に研究奨励費を支給する。

ｃ 開催状況（教員の参加状況含む）

ア【大阪信愛学院大学FD・SD委員会】

・ ＦＤ・ＳＤ研修会の参加状況は、以下のとおりである。

令和4年度
第1回　ＦＤ研修会　「学術研究研修会」　参加人数　40名
第2回　ＦＤ研修会　「研究倫理教育研修会」　参加人数　40名
第3回　ＦＤＳＤ研修会「教育未来創造会議「第一次提言」が示すもの」　参加人数　57名
第4回　ＦＤＳＤ研修会「ハラスメント研修会」□　参加人数　47名
第5回　ＦＤＳＤ研修会「オンライン授業～Teams～」□　参加人数　45名
第6回　ＦＤＳＤ研修会「困難を抱えている学生の対応」　参加人数　47名
令和5年度
第1回　ＦＤ研修会　「研究に必要な統計学」　参加人数　35名
第2回　ＦＤＳＤ研修会「昨年度の広報活動状況と今年度の対応入試の分析等」　参加人数　49名
第3回　ＦＤＳＤ研修会「大学におけるハラスメントの対応と予防」　参加人数　53名
第4回　ＦＤ研修会　「研究倫理教育研修会」□　参加人数　43名
第5回　ＦＤＳＤ研修会「大学教育の社会的レリバンス」□　参加人数　48名
第6回　ＳＤ研修会　「大学職員の業務スタイル　「問題解決の手法」等　参加人数　18名
第7回　ＦＤＳＤ研修会「困難を抱える学生の対応」　参加人数　43名
第8回　ＦＤＳＤ研修会「大学および大学法人職員に期待する役割」　参加人数　47名
令和6年度
第1回　ＦＤＳＤ研修会「ハラスメントの対応について」　参加人数　70名
第2回　ＦＤ研修会　「研究計画書作成と倫理的配慮」　参加人数　48名
第3回　ＦＤＳＤ研修会「学生の心に響く対応」　参加人数　71名
第4回　ＳＤ研修会　「高等教育情勢と大学の課題、組織の意思決定」　参加人数　13名

ｄ 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・ 授業評価アンケート結果の分析をもとに学部での授業改善、教育改善の取組に反映

・ 研修会を通じて、教育活動促進、授業改善や学生支援に活用

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ 実施の有無及び実施時期

・ 前期（7月、8月）及び後期（1月、2月）に実施予定。

・ 学内ポータルサイトにて学生がオンライン入力。

ｂ 教員や学生への公開状況、方法等

・ 前期及び後期とも、授業担当者から、アンケート結果に対して学生に改善点等をフィードバックを行うとともに、その結果はパソコン上でも閲覧可能とする。

(注)・「①ａ 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

「該当なし」

（４） 自己点検・評価等に関する事項

①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

毎年度の自己点検・評価活動は、PDCA サイクルに基づくもので、年度初めの「自己点検・評価実施案」と年度末の「自己点検・評価報告書」によって行う。
自己点検・評価案は、各学部、その他各部署がそれぞれ作成する。その内容は、中期目標・計画に基づく各部署の年度目標、具体的計画、過去の点検評価に基づく改善点などをまとめたものである。
年度末には各部署の責任者が、年度初めの「目標や計画」がどの程度達成されたかを検証して「自己点検・評価報告書」としてまとめ、学長に提出する。この検証結果を翌年度の自己点検・評価実施案に反映（活用）することで本学の PDCA サイクルを機能させる。

②　自己点検・評価報告書

ａ　公表（予定）時期

・令和７年8月１日　公表予定

ｂ　公表方法

・自己点検・評価報告書は、本学ホームページ上で公表する。

③　認証評価を受ける計画

・7年に一度、公益財団法人大学基準協会による大学評価を受け、その結果を公表する予定である。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「②　自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（５） 情報公表に関する事項

○　設置計画履行状況報告書（令和７年度）

ａ　公表予定の有無　〔　有　・　無　〕

≪ａで「有」の場合≫

ｂ　公表（予定）時期　〔　調査結果公表後１ヶ月以内　・　公表後２～３ヶ月以内　・　公表後３ヶ月以降　〕

ｃ　公表方法　〔　ウェブサイトへの掲載　・　その他（　　）　〕

≪ａで公表「無」の場合≫

ｄ　公表しない理由　〔　　〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。